

# 松戸市立博物館年報

第29号 — 令和3年度 (2021)

## はじめに

令和3年度の当館の活動について、ご報告させていただきます。

まず、令和4年3月に、望月幹夫館長が退任されました。望月先生は、当館の第3代館長として、平成24年4月から10年の長きにわたって、当館の運営にご尽力されました。ここにあらためて深く感謝いたしますとともに、今後ともさらなるご指導・ご鞭撻をお願いする次第です。

令和3年度も、令和2年度に引き続き、世界中が新型コロナウイルス感染症の拡大に悩まされました。千葉県では、令和3年4月20日から、まん延防止等重点措置が適用され、さらに同年8月2日からは、まん延防止等重点措置に代わって、緊急事態宣言が適用されました。緊急事態宣言は9月30日に解除されましたが、令和4年1月21日には感染の再拡大にともなって再び千葉県にまん延防止等重点措置が適用され、3月21日まで継続されました。

当館では、こうした状況にかんがみ、感染症対策を徹底しながら、展示・講演会・講座等の各種事業を実施しました。展示では、4月から館蔵資料展「小金城・根木内城＋郷土玩具展リターンズ」(前期)を、6月から「小金城・根木内城＋郷土玩具展リターンズ」(後期)を開催し、10月からは企画展「古墳時代のマジカルワールド」を開催しました。また、博学連携をいっそう推進するために、令和4年1月から、博学連携展示・こどもミュージアム「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」を開催しました。これらの展示の際には、多くの皆様にご来館いただきました。令和3年度の当館利用者数は、新型コロナウイルス感染症の流行前には及ばないものの、令和2年度からは大きく増加しました。

博学連携の一環である「博物館アワード」は、令和3年度で第6回となりましたが、関係者の皆様のご協力もあって、すっかり定着した感があります。その一方で、令和3年度は、講演会・体験学習等の企画のいくつかを、延期や中止にしたり、参加人数を減らしたりせざるを得なかったことは残念でした。

新たに「まつどデジタルミュージアム」の開設に向けて取組み準備を始めることができたことは、令和3年度の大きなニュースだといえます。多くの方々に松戸市の歴史と文化への関心を高めていただくために、博物館の展示とデジタルミュージアムが車の両輪となって貢献していきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症については、いまなお予断を許さない状況ですが、職員一同、博物館友の会と手を携えて事業を進めていく所存ですので、市民の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和4年10月

松戸市立博物館

I	沿革	3
II	施設の概要	5
III	事業の概要	6
	1 常設展示	6
	(1) 総合展示	
	(2) 主題展示	
	(3) 野外展示	
	(4) 映像展示	
	2 資料・企画展示	9
	(1) 館蔵資料展「小金城・根木内城+郷土玩具展リターンズ」	
	(2) 企画展「古墳時代のマジカルワールド」	
	(3) 博学連携展示・こどもミュージアム「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」	
	3 学習支援	32
	(1) 講演会	
	(2) 講座	
	(3) 体験学習	
	(4) ミュージアムシアター・プレイルーム	
	(5) 館内公開	
	(6) ガイドツアー（常設展示解説）	
	(7) 情報提供	
	4 連携事業	40
	(1) 博学連携プログラム	
	①受入	
	②派遣	
	③事業	
	(2) その他	
	5 調査・研究	45
	(1) 松戸市古文書調査（委託）	
	(2) 研究員の活動	
	(3) 学芸員の活動	
	6 資料の収集と利用	48
	(1) 資料の収集	
	(2) 博物館資料の貸出	
	(3) 博物館資料の特別利用	
	(4) 資料の燻蒸等	
	7 令和3年度 資料展・企画展アンケート結果	51
	(1) 館蔵資料展「小金城・根木内城+郷土玩具展リターンズ」	
	(2) 企画展「古墳時代のマジカルワールド」	
	(3) 博学連携展示・こどもミュージアム「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」	
	8 新型コロナウイルスへの対応	54
IV	組織と運営	56
	1 組織	
	2 歳出予算	
	3 事務事業	
	4 各種委員会等	
	5 博物館利用者の統計	
	6 来訪者	
V	条例・規則	61
	職員名簿	

# I 沿 革

年 月	事 項
昭和39年12月	松戸市公民館に郷土資料室設置(50㎡)
昭和46年 4月	(助)松戸市開発協会内に移転、松戸市郷土資料館となる。(227.47㎡)
昭和49年11月	松戸市文化ホール内に移転、郷土資料コーナーとなる。(330㎡)
昭和56年 3月	松戸市文化ホールが博物館相当施設となる。
5月	松戸市美術館(郷土資料館及び古文書館を含む)構想調査会条例制定 松戸市美術館構想調査会発足[委員7名]
昭和58年 8月	松戸市美術館構想調査会、松戸市美術館(郷土資料館及び古文書館を含む)構想について答申(18回開催)
昭和59年 4月	社会教育部内に美術館準備室設置
6月	松戸市美術館(郷土資料館及び古文書館を含む)建設調査会発足[委員10名]
11月	松戸市美術館建設調査会、美術館について答申
昭和60年 3月	松戸市美術館建設調査会、郷土資料館・古文書館について答申(7回開催)
昭和63年 9月	市議会に文化施設建設対策特別委員会設置[委員15名]
10月	第4次総合5ヶ年計画で郷土博物館(仮称)建設決定 美術館準備室に博物館担当学芸員を配属
11月	松戸市立郷土博物館展示検討委員会発足[委員10名]
12月	建設用地を総合公園「21世紀の森と広場」内と決定 松戸市立郷土博物館設立懇談会発足[委員8名]
平成元年 3月	文化施設建設対策特別委員会において建築設計事務所選定方式をプロポーザル方式と決定 松戸市立郷土博物館設立懇談会において展示の基本構想を決定
4月	文化施設建設対策特別委員会において展示設計業者選定方式を特命方式と決定
8月	総合公園「21世紀の森と広場」内に建設位置決定
11月	松戸市立郷土博物館建築設計事務所選定委員会発足[委員8名] 展示基本設計を(株)乃村工芸社に委託
12月	建築設計事務所を(株)佐藤総合計画に決定
平成2年 2月	建築基本設計を(株)佐藤総合計画に委託
3月	建築実施設計を(株)佐藤総合計画に委託
6月	展示実施設計を(株)乃村工芸社に委託
9月	博物館本体工事を大成・海老澤共同企業体と契約 博物館新築工事着手
平成3年 9月	展示工事及び展示物製作を(株)乃村工芸社に委託、工事・製作着手
平成4年 1月	外構工事着手
3月	植栽工事着手
4月	美術館準備室から分かれ、博物館開設室設置
6月	建築工事、外構工事竣工
7月	野外展示工事着手、植栽工事竣工
9月	松戸市立博物館条例制定(館名「松戸市立博物館」に決定)
12月	野外展示工事竣工
平成5年 1月	展示工事竣工 松戸市立博物館管理運営規則制定
3月	松戸市立博物館開館(29日)
4月	初代岩崎卓也館長就任 開館記念展(期間:4月29日から6月13日まで)「松戸写真館—カメラがとらえた松戸の人々」を開催
10月	松戸市立博物館協議会発足[委員10名]

年 月	事 項
平成6年4月 6月	機構改革にともない市立図書館より市史編さん係を移管 館蔵「幸田貝塚出土品」266点 国重要文化財指定(28日付)
平成7年6月	博物館登録 千葉県教育委員会 平成7年6月9日 登録番号第30号 博物館資料数 4,385点 （ 歴史資料 1,686点 考古資料 2,650点 民俗資料 49点
平成8年10月	博物館等資料選定評価委員会発足[委員5名]
平成9年3月	博物館開館5周年記念特別展示(期間:3月20日から5月11日まで) 「シルクロードとガンダーラ」展を開催
平成10年4月	博物館事業として「自然史」を加える。(松戸市立博物館条例改正) 機構改革にともない市史編さん係を廃し庶務係に吸収する。
平成13年10月	観覧料に「共通観覧料」を設ける。(松戸市立博物館条例改正)
平成14年6月	松戸市立博物館友の会発足(16日)
平成15年10月	松戸市制施行60周年記念・松戸市立博物館開館10周年記念特別展示(期間10月11日から11月30日まで)「川の道 江戸川」展を開催
平成20年3月 4月 10月	初代岩崎卓也館長退任 2代関根孝夫館長就任 組織改革により、係制を廃止 ハイビジョンシアターをミュージアムシアターに改称 松戸市立博物館開館15周年記念特別展示(期間:10月11日から12月7日まで) 縄文時代の東・西」展を開催
平成21年5月	市史編さん委員会に、原始・古代及び中世各部会を設置し、松戸市史上巻改訂事業に本格的に着手
平成23年3月 4月	東日本大震災発生(11日) 観覧料「中学生以下は無料」となる。(松戸市立博物館条例改正)
平成24年3月 4月	2代関根孝夫館長退任 3代望月幹夫館長就任
平成25年10月	松戸市制施行70周年記念・松戸市立博物館開館20周年記念特別展示(期間:10月5日から11月24日まで)「松戸の発掘60年史－市内の遺跡を再検討－」展を開催
平成26年12月	松戸市立博物館等資料選定評価委員会設置要綱」を条例化し、「松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例」を制定(平成27年4月1日施行)
平成27年2月	松戸市史 上巻(改訂版)原始・古代・中世』を刊行
平成30年4月	松戸市立博物館管理運営規則第5条の観覧料の免除等の(1)「大学生及び大学生以下の者を引率する者」を追加、(3)「身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者」の市内要件を撤廃
平成30年9月	松戸市制施行75周年記念・松戸市立博物館開館25周年記念特別展示(期間:9月22日から11月25日まで)「ガンダーラ－仏教文化の姿と形－」展を開催
平成31年3月	松戸市制施行75周年・松戸市立博物館開館25周年企画展示(期間:3月9日から3月24日まで)「日本の太鼓・世界の太鼓」展を開催。21世紀の森と広場に所在する21世紀の森と広場公園管理事務所、森のホール21、および当館による初の連携企画。
令和元年10月	消費税率引き上げに伴う観覧料改定
令和2年4月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(3月2日から3月31日まで)
令和4年3月	3代望月幹夫館長退任

## Ⅱ 施設の概要

### 建築の概要

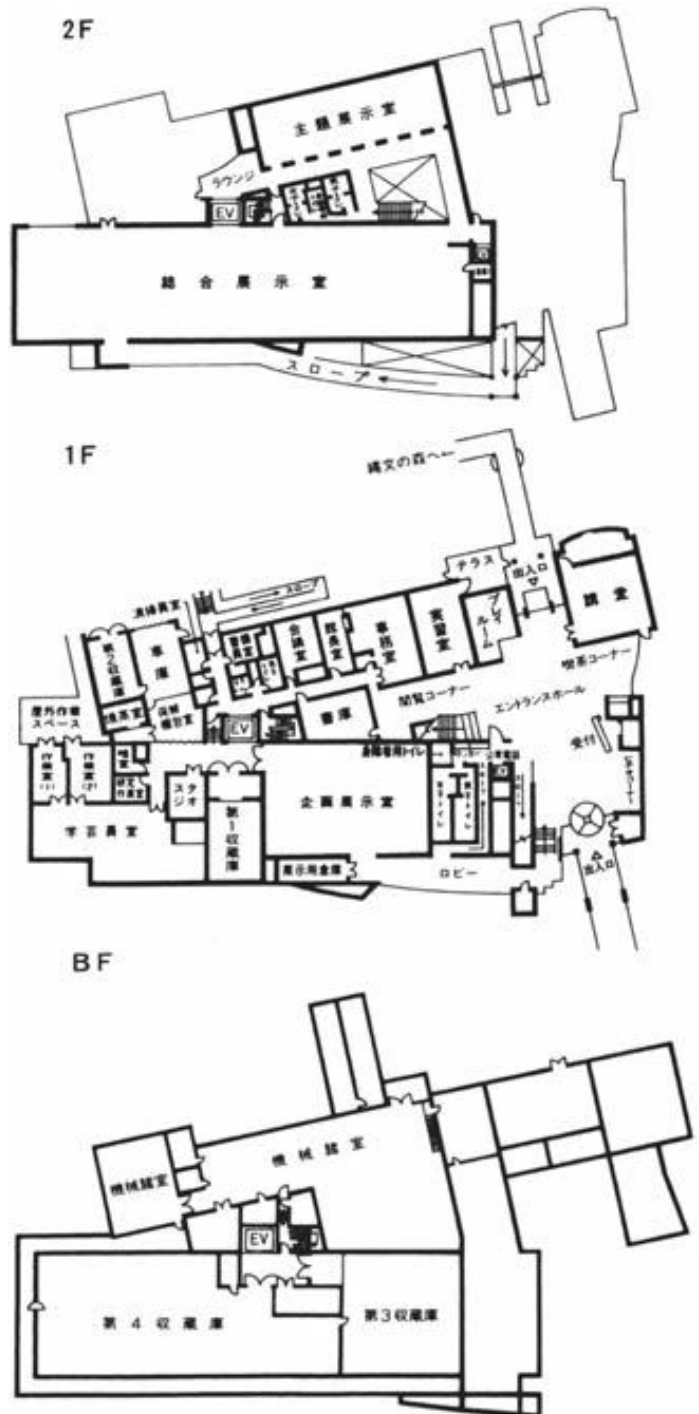
- 1)敷地面積 7,795.81㎡                      2)建築面積 2,709.92㎡  
 3)延床面積 5,446.73㎡                  1階 2,515.17㎡/2階 1,542.92㎡/地下1階 1,388.64㎡  
 4)階数 地下1階・地上2階              5)構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造(展示室 PRC 梁構造)  
 6)高さ 14.4m

注)博物館周辺環境との調和をはかるため高さを15m以内に、また地下水などの水脈保全のため地下部分についても10m以内に制限して建設を行った。

### [各室の面積]

区分	室名	室数	階層	面積(㎡)
展示部門	総合展示室	1	2	873.40
	主題展示室	1	2	215.09
	企画展示室	1	1	318.85
	展示用倉庫	1	1	33.12
	小計			1,440.46
収蔵・保存部門	第1収蔵庫	1	1	102.67
	第2収蔵庫	1	1	46.20
	第3収蔵庫	1	B1	231.38
	第4収蔵庫	1	B1	472.41
	車庫・荷解梱包室	1	1	109.54
	作業室(1)	1	1	33.71
	作業室(2)	1	1	42.98
	燻蒸室	1	1	31.32
	小計			1,070.21
	教育普及部門	講堂	1	1
実習室		1	1	70.97
プレイルーム		1	1	51.60
閲覧コーナー		-	1	78.80
ビデオコーナー		-	1	45.66
小計				371.91
調査研究部門	書庫	1	1	50.19
	学芸員室	1	1	193.49
	スタジオ・暗室	1	1	40.30
	研究作業室	1	1	16.99
	小計			300.97
管理部門	館長室	1	1	33.03
	事務室	1	1	83.98
	会議室	1	1	38.27
	警備員室	1	1	25.03
	清掃室	1	1	10.67
	機械諸室	-	B1	575.49
	管理共有部分	-	1	424.54
	小計			1,191.01
サービス部門	エントランスホール	-	1	333.12
	喫茶コーナー	-	1	56.29
	ロビー	-	1	106.32
	スロープ	-	-	196.91
	共有部分	-	-	379.53
	小計			1,072.17
合計			5,446.73	

### [各階の平面図]



# Ⅲ 事業の概要

## 1 常設展示

### (1) 総合展示

#### ゾーン1 人類の登場

##### ■ 松戸のあけぼの

旧石器時代の展示空間は常設展示室の入り口部分、展示全体の導入部であるので、短時間で旧石器時代に関心を抱いてもらえるように、見てわかる展示を心がけた。特に実資料(石器)の展示については、単に「石」の羅列にならないように、3つの展示スペース相互に関連をもたせた。

#### ゾーン2 狩りと採集のムラ

##### ■ 縄文人の暮らし

近年の相次ぐ発掘調査の成果は、これまでの縄文時代の生活に対する私達のイメージを一変させている。ここでは、遺跡から出土する動物・植物遺存体を手がかりにして、ムラの外での生業活動の復元を行い、貝の花貝塚の復元模型を中心にムラの中での日常生活の復元を行っている。

##### ■ ムラのうつりかわり

縄文時代は安定した食糧供給に支えられて、人々は定住を始め、やがてムラを営むようになった。この縄文時代草創期から晩期にいたるムラの盛衰と生活基盤の変化を、幸田貝塚・子和清水貝塚・貝の花貝塚など、市内の遺跡の出土資料等を使用して、明らかにしようと試みている。

##### ■ 人々の交流

縄文時代の人々は、近隣だけでなく、遠く離れた地域の人々とも交流していたことが、遺跡から出土する土器・石器などによってわかる。ここでは、松戸市内から出土した石器石材の産地推定を通して、松戸を中心とした縄文時代の人々の交流圏や、石材の入手経路について、展示を行っている。

#### ゾーン3 稲作社会の誕生

##### ■ 米作りの暮らし

弥生時代になって中国大陸や朝鮮半島から多くの人々が日本に到来し、様々な新しい技術をもたらした。とりわけ、古墳時代の変化を松戸市域の出土資料を用いて展示している。

##### ■ 古墳の出現

前方後円墳という共通の形の墓が全国で築かれた古墳時代における松戸市域の特質を、河原塚古墳群や栗山古墳群などの出土遺物を用いて展示を行っている。

#### ゾーン4 下総国のはじまり

##### ■ 古代の松戸

古代の松戸周辺は下総国西端の葛飾郡に含まれていた。下総国の国府は市川市国府台周辺にあったと考えられており、この時期の松戸市域は政治的求心力のある国府の近郊地域として位置づけられる。

#### ゾーン5 武士と民衆

##### ■ 千葉氏と高城氏

武士が政権の座に就いた中世、鎌倉時代の松戸市域では千葉氏の一族が登場する。本拠とした風早郷を名乗った風早氏である。室町から戦国時代にかけては高城氏が勢力を伸ばした。戦国後期に大谷口小金城を本拠とした高城氏は、東葛飾地域最大の領主となった。高城氏は戦国大名間の争いの渦中で、次第に後北条氏の支配に属するようになり、やがて豊臣秀吉の天下統一により滅亡を余儀なくされた。関連する文書資料および小金城出土資料などから同氏の当該期における位置づけを解説している。

## ■ 中世人の生と死

中世の人々は現世のみならず来世での幸福を強く願った。市内に残存する資料からその具体的な信仰を探った。板碑は供養碑としてとくに関東地方で流行した。市内の武蔵型板碑の出土地を見ると、多くは小さな谷が入り組んだ台地の縁辺部であるところから、中世人の生活空間が推量される。また関東中世史の研究に欠かせない「本土寺過去帳」所載の地名と一致する場合も多い。過去帳はその存在自体が人々の往生願望の現れであるが、ほかにも合戦記事、多くの職人の名などが見える。展示においてはその豊富な内容の一端を解説している。

## ゾーン6 町場と村

### ■ 近世の村

近世社会に入ったころの松戸市域はほとんどが農村で、幕末でも松戸宿・小金宿を除き53の村(新田村を含む)に分かれていた。近世の領主は、村を行政単位として年貢などを徴収したり、宗門改めや五人組制度等によって農民を支配し、村では名主・組頭などの村役人を代表者として生産・生活を営んでいた。一方、当時の農村生活の楽しみには、庚申講などでの共同飲食や、お伊勢参りなど寺社参詣の旅があった。

### ■ 宿場と河岸

松戸市域には水戸道沿い松戸宿と小金宿の2つの宿場町があった。幕府の交通政策によって公的に設定された宿は、単なる交通の拠点としてでなく、周辺の流通・経済の中心地として発展した。特に江戸川岸に河岸場が発達した松戸宿は、陸上交通だけでなく、江戸川と利根川の河川交通・流通の中継基地という性格が加わり、また江戸川の対岸金町に幕府が関所を設けたので旅籠も多く、下総北西部の重要な町場に発展した。

### ■ 小金牧と御鹿狩

下総台地には古代から馬の牧場が設置され放牧が行われていた。江戸幕府はこの台地に直轄の牧場、小金牧・佐倉牧を開設するが、大半が小金牧に含まれた市域は、牧を管理する野馬奉行役宅や金ヶ作役所が設けられ、牧支配の中核地だった。また、徳川将軍家は「御鹿狩」と呼ばれた大規模な狩りを小金原で計4回行ったが、その舞台は現在の松飛台周辺だった。この狩りには、小金原の地元はもちろん武蔵・上総など4か国から農民が勢子として動員されたが、めったにない娯楽的要素もあった。

## ゾーン7 都市へのあゆみ

### ■ 松戸1868～1960

近代を迎えた松戸は葛飾県、印旛県をへて千葉県に編入される。郡役所、郵便局、警察、裁判所が置かれ、東葛飾郡の行政の中心となった。19世紀末から20世紀初頭にかけては常磐線、流鉄、東武野田線(いずれも現在の名称)が市内を通過し、交通網の整備がすすむ。やがて戦争の時代にいたると多くの市民が戦場へ駆り出され、あるいは銃後の生活を強いられた。戦後の松戸は常盤平団地に象徴されるように、首都圏の住宅供給地として、大きくその景観、産業構造を変貌させている。このような近現代での松戸の変化を絵年表を中心に、市域の変遷図、土地利用変遷図などの資料を用い、日本史全体の流れを考慮しつつ解説している。

### ■ 下谷・谷津・台

松戸市が現在のような姿になったのは、昭和30年～40年代の高度経済成長期に大規模な宅地開発や工業団地の造成が行われたことが大きい。この時期には人口の社会増が大きく、市民の生活も全体的な景観も大きく変貌した。ここでは、下谷・谷津・台というフォークタムから、市域を江戸川低地(下谷)、下総台地の開析谷周辺(谷津)、下総台地の平坦面(台)の3種類に分け、大きな変貌を遂げる直前の昭和30年代前半の景観模型をもとに、地形、水利、生産形態、住まい方などを例にとりて先人の人々の生活の場がどのようなものであったのかを対比的に説明している。

### ■ 常盤平団地の誕生

松戸市は昭和30年代の半ばから、その大半を占めていた近郊農村から首都圏の住宅都市へと急激にその姿を変貌させていくが、その先駆けとなったのが常盤平団地であった。この団地の住民の大半が首都圏の企業に勤めるサラリーマンの家庭で、住宅都市を目指していた松戸市の新しい市民像を代表していた。この展示では、あるサラリーマン家庭の昭和37年の暮らしが当時の生活財によって原寸大の2DK



のなかに復元されている。

## (2) 主題展示

### 主題1 考古学と科学の眼

総合展示室で復元されている4000年前の縄文時代に存在した森はどのようにして復元されたのか、また、縄文時代の海岸線をどのようにして知ることが出来たのか。あるいは、文字などのなかった遙か昔の年代がなぜ分かるのか、といった主に自然科学的な手法を用いた歴史の復元方法を紹介している。

### 主題2 虚無僧寺一月寺

江戸時代の小金宿には、青梅鈴法寺とともに普化宗総本山だった一月寺があり、全国に知られていた。中国唐代の普化禅師を宗祖とする禅宗の一派だった普化宗と、その僧侶である虚無僧が、近世前期に成立して近世中期に最盛期を迎えたこと、また、映像によって虚無僧の姿や生活の歴史や、江戸時代虚無僧に独占された尺八の歴史・音楽などを紹介している。

### 主題3 二十世紀梨の誕生

果物のナシの代表品種「二十世紀梨」は、現在鳥取県での栽培が有名であるが、実は明治時代に現在の松戸市内で松戸覚之助少年に偶然発見され、次第に全国で栽培されたのであった。そのため、現在市内に「二十世紀が丘」の地名が残るが、この展示室では発見者松戸覚之助のことや、発見以前(江戸時代)から盛んであった下総東葛地域のナシ栽培の歴史、また映像により現在の市内梨園での二十世紀梨の開花から収穫までの栽培の様子を紹介している。

### 主題4 三匹獅子舞

松戸市内の3地区で演じられている獅子舞は、ひと組の踊り手が3人からなる「三匹獅子舞」と呼ばれるものである。シシ(獅子)が登場する芸能は日本国内ではなじみ深いものであるが、一口にシシといっても、頭の形・演じ方ともにさまざまな違いがあることは意外に知られていない。ここでは山路興造氏の所説をもとに、三匹獅子舞の特徴、一人立ちの獅子舞と二人立ちの獅子舞の差異、絵画史料にみる一人立ちの獅子舞と風流踊といった観点から、三匹獅子舞の系譜と地域的広がりを映像を用いて解説している。

## (3) 野外展示

### 竪穴住居復元

博物館北側の台地に、市内の遺跡から発掘された住居跡の資料に基づいて、縄文時代中期の竪穴住居3棟を原寸復元した。常時、竪穴住居1棟を開放し、住居内を自由に見学できるようになっている。

## (4) 映像展示

### ■ ビデオ映像

松戸市内に関わりのある映像ソフト7作品を製作して公開している。

- ①大地に埋もれた歴史
- ②町並み今昔物語
- ③富士講
- ④万作を語る
- ⑤三匹獅子舞～和名ヶ谷～
- ⑥三匹獅子舞～上本郷～
- ⑦三匹獅子舞～大橋～

## 2 資料・企画展示

### (1) 館蔵資料展「[小金城・根木内城+郷土玩具展リターンズ]」

#### ◆展示意図

新型コロナウイルスの影響により、会期を短縮して開催した館蔵資料展「小金城と根木内城」(令和元年度)及び「郷土玩具～人と動物のかたち」(令和2年度)を、新資料をも加えて改めて同時に実施した。

「小金城・根木内城」は市民憩いの公園となっている二つの城跡と市域の戦国時代を出土文化財と戦国時代の古文書で描き、「郷土玩具」は市民から寄贈された郷土玩具から「人と動物のかたち」をテーマに絞り、郷土玩具のもつ創造性や多様性を発見して楽しむ機会を提供した。

◆主催 松戸市立博物館(企画担当 中山文人・山田尚彦<当館学芸員>)

◆後援 千葉テレビ放送株式会社、(公財)松戸市文化振興財団  
(一社)松戸市観光協会

◆協力 新京成電鉄株式会社、北総鉄道株式会社、流鉄株式会社

◆会期 [前期]令和3年4月29日(木・祝)～6月13日(日)[40日間]  
[後期]令和3年7月6日(火)～8月22日(日)[42日間]

◆会場 松戸市立博物館 企画展示室

◆観覧者数 6,623人

◆観覧料 無料

- ◆印刷物
- ①ポスター B2判 100枚
  - ②ちらし A4判 10,000枚
  - ③展示資料リスト2種、各500部(館内で印刷、以下同)
  - ④古文書の現代語訳集 300部
  - ⑤「こどもワークシート」 600部
  - ⑥ペーパークラフト「郷土玩具ずぼんぼ(とら・しし)をつくってあそぼう」  
(2種各300部「おうちミュージアム」第5弾でPDFファイルを博物館サイトに掲載)
  - ⑦ワークシート「図形パズルをつくってあそぼう」  
(600部、「おうちミュージアム」第6弾としてPDFファイルを博物館サイトに掲載)

#### ◆関連企画

「歴史を語る」1(会場:当館講堂)

※講演会定員は通常80名である。新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、チラシ等の事前広報の段階では定員30名として募集したが、その後の感染状況を鑑み、抽選時に人数制限を緩和し、定員50名として抽選を実施した。

演題 「郷土玩具と二人の人類学者－正五郎と敬三－」(山田)

「天神人形と菅原道真－天神信仰のうつりかわり－」(村山)

対象者 一般

開催月日 令和3年7月18日(日)13時00分～16時00分

講師 山田尚彦(当館学芸員)、村山翠(目黒区めぐろ歴史資料館研究員)

参加人数 11人

※令和3年5月8日に予定していた学芸員講演会「戦国時代／松戸まわりの四方山噺」は新型コロナウイルス感染症に伴う蔓延防止等重点処置に伴い、令和4年2月19日に変更して実施した。



## ◆展示資料

## 小金城・根木内城 展示資料リスト

No.	名 称	出 土 地
1	カワラケ	小金城跡・根木内城跡
2	播鉢(瀬戸・美濃系と在地産)	根木内城跡
3	石臼片	小金城跡・根木内城跡
4	羽釜片(東海)	根木内城跡
5	内耳鍋(在地産)	小金城跡・根木内城跡
6	大甕片(常滑)	根木内城跡
7	染付碗片(中国)	小金城跡
8	染付皿片(中国)	小金城跡
9	白磁皿片(中国)	小金城跡・根木内城跡
10	白磁碗片(中国)	小金城跡・根木内城跡
11	青磁壺片(中国)	小金城跡
12	青磁端反碗片(中国)	根木内城跡
13	青磁綾花皿片(中国)	根木内城跡
14	青磁燭台片(中国)	根木内城跡
15	鉄釉壺片(志戸呂／茶壺)	根木内城跡
16	李朝瓶片(李氏朝鮮)	小金城跡
17	灰釉端反皿(瀬戸美濃系)	根木内城跡
18	灰釉丸皿(瀬戸美濃系)	根木内城跡
19	挟み皿片(瀬戸美濃系)	小金城跡・根木内城跡
20	緑釉小皿片(瀬戸美濃系)	小金城跡・根木内城跡
21	漆器	根木内城跡
22	青磁盤・大皿片(中国)	小金城跡
23	天目茶碗片(瀬戸美濃系)	小金城跡・根木内城跡
24	カワラケ[輪宝墨書]	小金城跡
25	羽口片	小金城跡
26	鉄滓	小金城跡
27	釘	根木内城跡
28	銭	小金城跡・根木内城跡
29	分銅	根木内城跡
30	板碑片	根木内城跡
31	カワラケ[銅銭付着]	小金城跡
32	弾丸(銅製)	小金城跡
33	鉄札	小金城跡
34	革札	小金城跡
35	革札[復元]	小金城跡
36	鐙	小金城跡
—	酒飯論絵巻[部分写真]	写真パネル 原本:文化庁蔵
—	小金城跡地形模型	縮尺:1/500
—	根木内城跡地形模型	縮尺:1/500

No.	名 称	出 土 地
—	古戦場・城跡・中世寺院の立地と地形	空中写真パネル 昭和22・23(1947・48)年 原版:国土地理院
—	小金城跡	発掘調査状況写真パネル
—	根木内城跡	発掘調査状況写真パネル
—	本土寺過去帳に見る戦い<抄>	解説パネル 原本:本土寺蔵
37	北条氏康書状(西原文書)	永禄7[1564]年1月4日
38	北条家朱印状(西原文書)	永禄7[1564]年5月10日
39	北条家朱印状(西原文書)	永禄6[1563]年4月晦日
40	北条家朱印状(西原文書)	元亀2[1571]年4月10日
41	足利義氏書状(豊前氏古文書)	永禄8[1565]年3月6日以前カ
42	足利義氏書状(豊前氏古文書)	永禄9[1566]年3月28日
43	北条氏忠判物(西原文書)	永禄13[1570]年5月22日
44	北条氏忠朱印状(西原文書)	元亀2[1571]年9月26日
45	北条家朱印状(西原文書)	永禄8[1565]年2月2日
46	北条家朱印状(西原文書)	永禄8[1565]年2月10日
47	今川氏真書状(西原文書)	永禄11[1568]年12月16日
48	千葉胤富書状(豊前氏古文書)	永禄12[1569]年2月29日
49	今川氏真感状(西原文書)	永禄12[1569]年4月20日

## ☆後期に追加した展示資料☆

50	北条家朱印状(高城忠雄家文書)	天正12[1584]年10月16日
51	小金城図写(高城忠雄家文書)	享保13[1728]年3月26日

お断り

江戸時代以降、寺院に常備されるようになった過去帳ですが、現在は、いわれなき差別を助長する可能性を持つ記録として、公開されなくなっています。

一方で、戦国時代に成立した本土寺過去帳がこれまで何度も活字史料集が出版され、全文の写真さえ広く公開されているのは、日本中世史研究上必須の記録という学術的要請のみならず、現代における差別に結びつく情報が含まれていないからでもあります。

1993年の開館以来、当館常設展示室で本土寺過去帳の複製や写真を展示し、今回も地域の戦争を紹介する写真パネル「本土寺過去帳に見える戦い<抄>」として活用したのは、上記の認識にもとづきます。今後ともご所蔵の本土寺様のご理解とご協力のもと、人権の観点に留意しつつ、活用をはかってまいります。

## ◆展示資料

## 「郷土玩具－人と動物のかたち－」展示資料リスト

No.	展示期間 (前期後期)	資料番号	名称	製作地都道府県
1	前・後期	2281	ずぼんぼ(獅子)	東京都
2	前・後期	2282	ずぼんぼ(虎)	東京都
3	前・後期	1657	黄鮒	栃木県
4	前・後期	519	神農の虎	大阪府

## 天神人形

5	前・後期	1	小幡人形(天神)	滋賀県
6	前・後期	2	のごみ人形(天神)	佐賀県
7	前・後期	3	御坊人形(天神)	和歌山県
8	前・後期	4	相良人形(堂内天神)	山形県
9	前・後期	5	高山土人形(牛乗り天神)	岐阜県
10	前・後期	6	佐野土人形(天神)	栃木県
11	前・後期	8	出雲土人形(牛乗り天神)	島根県
12	前・後期	10	津山土人形(牛乗り天神)	岡山県
13	前・後期	11	津屋崎人形(天神)	福岡県
14	前・後期	13	八幡人形(天神)	新潟県
15	前・後期	14	八橋土人形(天神)	秋田県
16	前・後期	15	相良人形(天神)	山形県
17	前・後期	16	豊橋土人形(赤天神)	愛知県
18	前・後期	17	堤人形(天神)	宮城県
19	前・後期	20	富山土人形(天神)	富山県
20	前・後期	21	長浜土人形(天神)	島根県
21	前・後期	22	長浜土人形(天神)	島根県
22	前・後期	23	長浜土人形(天神)	島根県
23	前・後期	24	中湯川土人形(天神)	福島県
24	前・後期	25	芝原人形(天神)	千葉県
25	前・後期	26	西瓜天神(赤)	神奈川県
26	前・後期	27	西瓜天神(緑)	神奈川県
27	前・後期	29	水原の山口人形(天神)	新潟県
28	前・後期	30	葛畑土人形(天神)	兵庫県
29	前・後期	32	小幡人形(天神)	滋賀県
30	前・後期	33	酒田土人形・鶴渡川原人形(天神)	山形県
31	前・後期	34	中湯川土人形(天神)	福島県
32	前・後期	35	中湯川土人形(天神)	福島県
33	前・後期	36	中湯川土人形(天神)	福島県
34	前・後期	37	堤人形(天神)	宮城県
35	前・後期	38	長浜土人形(天神)	島根県
36	前・後期	39	長浜土人形(天神)	島根県
37	前・後期	44	出雲土人形(五色天神)	島根県
38	前・後期	45	犬山土人形(天神)	愛知県
39	前・後期	46	伏見人形(天神)	京都府
40	前・後期	47	下川原焼(天神)	青森県
41	前・後期	48	水原の山口人形(天神)	新潟県
42	前・後期	49	倉吉人形(天神)	鳥取県
43	前・後期	50	津山土人形 (津山泥天神・津山練り天神)	岡山県
44	前・後期	51	坊の谷土人形(天神)	静岡県

No.	展示期間 (前期後期)	資料番号	名称	製作地都道府県
45	前・後期	52	中山土人形(天神)	秋田県
46	前・後期	53	名古屋土人形(堂内天神)	愛知県
47	前・後期	54	出雲土人形(五色天神)	島根県
48	前・後期	55	出雲土人形(五色天神)	島根県
49	前・後期	56	赤兵子天神(人形)	大分県
50	前・後期	57	花巻土人形(天神)	岩手県
51	前・後期	59	出雲土人形(五色天神)	島根県
52	前・後期	60	出雲土人形(五色天神)	島根県
53	前・後期	61	出雲土人形(五色天神)	島根県
54	前・後期	62	出雲土人形(五色天神)	島根県
55	前・後期	63	名古屋土人形(天神)	愛知県
56	前・後期	64	津山土人形(ほこら天神)	岡山県
57	前・後期	70	下総人形(天神)	千葉県
58	前・後期	72	下川原焼(天神)	青森県
59	前・後期	73	名古屋土人形(天神)	愛知県
60	前・後期	74	附馬牛人形(牛乗り天神)	岩手県
61	前・後期	76	附馬牛人形(牛乗り天神)	岩手県
62	前・後期	79	古博多人形(天神)	福岡県
63	前・後期	80	古博多人形(天神)	福岡県
64	前・後期	81	酒田土人形・鶴渡川原人形(天神)	山形県
65	前・後期	82	津山土人形 (津山泥天神・津山練り天神天神)	岡山県
66	前・後期	83	八橋土人形(牛乗り天神)	秋田県
67	前・後期	84	附馬牛天神(牛乗り天神)	岩手県
68	前・後期	85	久米の泥天神	岡山県
69	前・後期	86	中野土人形(天神)	長野県
70	前・後期	87	小幡人形(天神)	滋賀県
71	前・後期	88	鴨田土人形(牛乗り天神)	愛知県
72	前・後期	90	野田天神	愛媛県
73	前・後期	92	佐土原人形(天神)	宮崎県
74	前・後期	93	長浜土人形(天神)	島根県
75	前・後期	94	三次土人形(天神)	広島県
76	前・後期	95	三次土人形(天神)	広島県
77	前・後期	96	三次土人形(天神)	広島県
78	前・後期	97	三次土人形(天神)	広島県
79	前・後期	98	三次土人形(松負い天神)	広島県
80	前・後期	99	中山土人形(天神)	秋田県
81	前・後期	378	帖佐人形(天神)	鹿児島県
82	前・後期	379	堂内天神	鳥取県
83	前・後期	380	帖佐人形(天神)	鹿児島県
84	前・後期	381	相良人形(天神)	山形県
85	前・後期	391	津屋崎人形(天神)	福岡県
86	前・後期	714	天神土鈴	広島県
87	前・後期	1133	会津張子(会津天神)	福島県
88	前・後期	1134	三春張子(天神)	福島県
89	前・後期	1135	船渡張子(牛乗り天神)	埼玉県
90	前・後期	1136	船渡張子(牛乗り天神)	埼玉県
91	前・後期	1137	志太天神	静岡県

No.	展示期間 (前期後期)	資料番号	名称	製作地都道府県
92	前・後期	1138	出雲張子(牛乗天神)	鳥根県
93	前・後期	1139	春日部張子(牛乗り天神)	埼玉県
94	前・後期	1142	三春張子(天神)	福島県
95	前・後期	1143	三春張子(天神)	福島県
96	前・後期	1490	串天神	静岡県

さまざまな人のかたち

97	前・後期	278	犬山土人形(桃太郎)	愛知県
98	前・後期	280	気比神宮の桃太郎	福井県
99	前・後期	281	日出人形(鯉金)	大分県
100	前・後期	282	大和出雲人形(熊乗り金太郎)	奈良県
101	前・後期	283	天草土人形(山姥と金時)	熊本県
102	前・後期	287	高山土人形(鯛乗りえびす)	岐阜県
103	前・後期	289	豊橋土人形(竹島の弁財天)	愛知県
104	前・後期	291	古賀人形(阿蘭陀さん)	長崎県
105	前・後期	292	堤人形(谷風)	宮城県
106	前・後期	294	佐土原人形(饅頭食い・羊羹食い)	宮崎県
107	前・後期	295	古賀人形(阿茶さん)	長崎県
108	前・後期	296	中野土人形(鯛ひき)	長野県
109	前・後期	298	相良人形(子抱き)	山形県
110	前・後期	301	堤人形(獅子舞)	宮城県
111	前・後期	310	水原の山口人形(さる廻し)	新潟県
112	前・後期	312	小幡人形(大神楽)	滋賀県
113	前・後期	313	のごみ人形(浮立面人形)	佐賀県
114	前・後期	314	中山土人形(竿燈人形)	秋田県
115	前・後期	315	大和出雲人形(左前人形)	奈良県
116	前・後期	317	二人獅子舞	山形県
117	前・後期	319	赤坂人形(頭巾を被る女)	福岡県
118	前・後期	320	住吉人形(種貸さん)	大阪府
119	前・後期	322	相良人形(前帯女郎)	山形県
120	前・後期	325	備中神楽人形(松尾明神)	岡山県
121	前・後期	326	備中神楽人形(室尾明神)	岡山県
122	前・後期	329	芝原人形(子守り)	千葉県
123	前・後期	330	古賀人形	長崎県
124	前・後期	331	尾崎人形(立娘)	佐賀県
125	前・後期	333	佐土原人形(太鼓持)	宮崎県
126	前・後期	334	水原の山口人形(馬乗鎮台)	新潟県
127	前・後期	343	備中神楽人形(大国主命)	岡山県
128	前・後期	346	下総人形(ひねり内儀)	千葉県
129	前・後期	347	万祝泥人形	千葉県
130	前・後期	349	馬乗童子	福岡県
131	前・後期	351	花巻土人形(牛乗り童子)	岩手県
132	前・後期	353	下川原焼(福助)	青森県
133	前・後期	354	下川原焼	青森県
134	前・後期	357	八橋土人形(えずめっこ)	秋田県
135	前・後期	358	酒田土人形・鶴渡川原人形(太鼓打)	山形県
136	前・後期	359	万祝泥人形	千葉県
137	前・後期	362	佐渡土人形(笛吹)	新潟県
138	前・後期	365	中野土人形(ひょうたんかつぎ童子)	長野県
139	前・後期	370	出雲今市土人形(子連れ夕涼み)	鳥根県

No.		展示期間 (前期後期)	資料番号	名称	製作地都道府県
140		前・後期	371	のごみ人形(菩薩人形)	佐賀県
141		前・後期	373	下川原焼(三味線)	青森県
142		前・後期	375	堺の土人形(南蛮人形)	大阪府
143		前・後期	382	帖佐人形(三番叟)	鹿児島県
144		前・後期	383	中野土人形 (立ヶ花人形・曾我五郎)	長野県
145		前・後期	384	中野土人形(立ヶ花人形・弁慶)	長野県
146		前・後期	385	弓野人形(力士)	佐賀県
147		前・後期	386	弓野人形(花魁)	佐賀県
148		前・後期	388	乙川の土人形(犬乗り童児)	愛知県
149		前・後期	389	大和出雲人形(犬乗りこども)	奈良県
150		前・後期	390	市原人形(石童丸)	岐阜県
151		前・後期	392	中野土人形(立ヶ花人形・舞鶴)	長野県
152		前・後期	393	津屋崎人形(かぶと人形)	福岡県
153		前・後期	396	起(富田)の土人形	愛知県
154		前・後期	401	中野土人形(立ヶ花人形)	長野県
155		前・後期	403	中野土人形(踊り子)	長野県
156		前・後期	638	会津張子(起姫)	福島県
157		前・後期	647	三河郷土玩具・おころりん	愛知県
158		前・後期	712	姫土鈴	広島県
159		前・後期	715	南蛮鈴	大分県
160		前・後期	716	南蛮鈴	大分県
161		前・後期	719	南蛮鈴(侍)	大分県
162		前・後期	722	春日巫子土鈴	奈良県
163		前・後期	725	堤人形(芥子)	宮城県
164		前・後期	1053	鴻巣の赤物(鯛乗金太郎)	埼玉県
165		前・後期	1086	奉公(ホーコ)さん	香川県
166		前・後期	1087	奉公(ホーコ)さん	香川県
167		前・後期	1088	三春張子(踊る女)	福島県
168		前・後期	1089	奉公(ホーコ)さん	香川県
169		前・後期	1093	肥後張子(力士)	熊本県
170		前・後期	1100	姫路張子(獅子舞)	兵庫県
171		前・後期	1105	三春張子(獅子舞)	福島県
172		前・後期	1106	高松張子(鯛乗りえびす)	香川県
173		前・後期	1107	沖縄張子・風俗人形 (ウッチリクブサー)	沖縄県
174		前・後期	1108	坊さんかんざし	高知県
175		前・後期	1115	宇土張子	熊本県
176		前・後期	1116	仙台張子(夫婦福助)	宮城県
177		前・後期	1117	倉敷張子(素隠居人形)	岡山県
178		前・後期	1122	沖縄張子・風俗人形 (モーヤーブトウキ)	沖縄県
179		前・後期	1124	坊ちゃん列車	愛媛県
180		前・後期	1125	鴻巣の赤物(熊金)	埼玉県
181		前・後期	1126	浜松張子(鳥神楽)	静岡県
182		前・後期	1810	会津張子(起姫・夫婦)	福島県

十二支ほかの動物たち

183	(ねずみ)	前・後期	226	小幡人形(小槌乗り鼠)	滋賀県
184		前・後期	819	のごみ人形(十二支土鈴)	佐賀県

No.		展示期間 (前期後期)	資料番号	名称	製作地都道府県
185		前・後期	858	常石張子(ねずみ)	広島県
186		前・後期	1035	福鼠	島根県
187		前・後期	1376	堤人形(子)	宮城県
188		前・後期	1893	薩摩首人形(米倉ねずみ)	鹿児島県
189		前・後期	1946	堤人形(子)	宮城県
190		前・後期	2297	倉敷張子(子)	岡山県
191	(うし)	前・後期	232	大和出雲人形(俵牛)	奈良県
192		前・後期	550	伊予張子(横綱牛)	愛媛県
193		前・後期	557	会津張子(赤べこ)	福島県
194		前・後期	559	沖繩張子・斗牛	沖縄県
195		前・後期	560	金ベコ	岩手県
196		前・後期	573	古代べこ	福島県
197		前・後期	582	仙台張子(俵牛)	宮城県
198		前・後期	584	柏張子(牛)	千葉県
199		前・後期	585	因伯牛	鳥取県
200		前・後期	587	張子(神牛)	島根県
201		前・後期	1378	隠岐横綱牛	島根県
202		前・後期	1855	会津張子(赤べこ)	福島県
203	(とら)	前・後期	191	伏見人形(虎)	京都府
204		前・後期	504	姫路張子(虎)	兵庫県
205		前・後期	506	仙台張子(虎)	宮城県
206		前・後期	509	那珂湊張子(虎)	茨城県
207		前・後期	514	宇土張子(虎)	熊本県
208		前・後期	527	加賀魔除虎	石川県
209		前・後期	532	張子虎	島根県
210		前・後期	533	三春張子(向かい虎)	福島県
211		前・後期	542	柏張子(虎)	千葉県
212		前・後期	547	静岡張子(虎)	静岡県
213		前・後期	548	会津張子(会津白虎)	福島県
214		前・後期	554	浜松張り子(虎)	静岡県
215		前・後期	556	張子虎	静岡県
216		前・後期	561	山形張子(ねまり寅)	山形県
217		前・後期	567	張子虎	福岡県
218	(うさぎ)	前・後期	213	下川原焼(兎)	青森県
219		前・後期	219	中湯川土人形(卯)	福島県
220		前・後期	220	中湯川土人形(卯)	福島県
221		前・後期	221	今戸焼(兎)	東京都
222		前・後期	223	出雲土人形(兎)	島根県
223		前・後期	574	那珂湊張子(兎)	茨城県
224		前・後期	1037	浜松張子(兎車・兎ころがし)	静岡県
225		前・後期	1039	三春張子(玉うさぎ)	福島県
226		前・後期	1312	木地玩具(卯)	鳥取県
227		前・後期	1409	のごみ人形(干支土鈴・卯)	佐賀県
228		前・後期	1658	餅つき兎	愛知県
229	(たつ)	前・後期	1030	三春張子(竜車)	福島県
230		前・後期	1322	木地玩具(辰)	鳥取県
231		前・後期	2299	倉敷張子(辰)	岡山県
232	(へび)	前・後期	1025	張子(巳)	島根県



No.		展示期間 (前期後期)	資料番号	名称	製作地都道府県
233		前・後期	1314	木地玩具(巳)	鳥取県
234		前・後期	2300	倉敷張子(巳)	岡山県
235	(うま)	前・後期	194	のごみ人形(稲荷駒)	佐賀県
236		前・後期	196	春駒	大分県
237		前・後期	202	伏見人形(飾り馬)	京都府
238		前・後期	210	乙川の土人形(飾り馬)	愛知県
239		前・後期	211	佐土原土人形(馬)	宮崎県
240		前・後期	798	春駒	大分県
241		前・後期	1075	飾り馬	島根県
242		前・後期	1079	倉敷張子(飾馬)	岡山県
243		前・後期	1080	仙台張子(黒馬)	宮城県
244		前・後期	1083	会津張子(馬)	福島県
245		前・後期	1084	会津張子(馬)	福島県
246		前・後期	1151	桐原の藁馬	長野県
247		前・後期	1169	きびがら細工(馬)	栃木県
248		前・後期	1241	チャグチャグ馬	岩手県
249		前・後期	1246	八幡駒	青森県
250		前・後期	1247	八幡駒	青森県
251		前・後期	1250	木ノ下駒	宮城県
252		前・後期	1253	三春駒	福島県
253		前・後期	1262	先陣駒	岩手県
254		前・後期	1273	弘前馬コ	青森県
255		前・後期	1282	板駒	岩手県
256		前・後期	1320	木地玩具(午)	鳥取県
257	(ひつじ)	前・後期	815	のごみ人形(干支土鈴・未)	佐賀県
258		前・後期	1041	常石張子(未)	広島県
259		前・後期	1335	木地玩具(未)	鳥取県
260		前・後期	1336	木地玩具(未)	鳥取県
261		前・後期	1380	春日有識一刀彫(未)	奈良県
262	(さる)	前・後期	214	木葉猿	熊本県
263		前・後期	215	ご幣猿	東京都
264		前・後期	216	小幡人形(桃持猿)	滋賀県
265		前・後期	217	大和出雲人形(組猿)	奈良県
266		前・後期	245	鹿猿	広島県
267		前・後期	253	鹿猿	広島県
268		前・後期	424	平戸の舌出し三番叟	長崎県
269		前・後期	463	住吉人形(十二支人形・喜々猿)	大阪府
270		前・後期	467	木葉猿(馬乗猿)	熊本県
271		前・後期	512	浜松張子(柿の葉猿)	静岡県
272		前・後期	902	白猿	大分県
273		前・後期	1036	浜松張子(柿の葉猿)	静岡県
274		前・後期	1062	鹿猿(張り子)	広島県
275		前・後期	1110	薩摩首人形(猿の面かぶり)	鹿児島県
276		前・後期	1394	ご幣猿	東京都
277		前・後期	1665	唐桑の諸玩具(弾き猿)	宮城県
278		前・後期	2301	倉敷張子(首ふり猿)	岡山県
279	(とり)	前・後期	141	尾崎人形(鳩笛)	宮城県
280		前・後期	142	赤坂人形(鳩)	福岡県
281		前・後期	144	塩山の鳩笛	山梨県

No.		展示期間 (前期後期)	資料番号	名称	製作地都道府県
282		前・後期	145	塩山の鳩笛	山梨県
283		前・後期	146	しらこ鳩笛	埼玉県
284		前・後期	150	今戸焼(鳩笛)	東京都
285		前・後期	151	尾崎人形(鳩笛)	佐賀県
286		前・後期	152	中山土人形	秋田県
287		前・後期	155	別府の土笛(鳩)	大分県
288		前・後期	156	水原の山口人形(鳩笛)	新潟県
289		前・後期	161	佐野土人形(鳩)	栃木県
290		前・後期	162	弥彦の目なし鳩	新潟県
291		前・後期	163	下川原焼	青森県
292		前・後期	165	鳩笛	京都府
293		前・後期	166	福鳩	岐阜県
294		前・後期	167	鹿児島神宮の諸玩(鳩笛)	鹿児島県
295		前・後期	168	豊橋土人形(鳩笛)	愛知県
296		前・後期	169	豊橋土人形(鳩笛)	愛知県
297		前・後期	170	別府の土笛(鳩)	大分県
298		前・後期	172	下川原焼	青森県
299		前・後期	224	三宝荒神の納鶏(雄鳥)	愛知県
300		前・後期	225	三宝荒神の納鶏(雌鳥)	愛知県
301		前・後期	250	芝原人形(鳩)	千葉県
302		前・後期	251	大和出雲人形(鳩)	奈良県
303		前・後期	252	大和出雲人形(鳩)	奈良県
304		前・後期	267	津屋崎人形(ふくろう)	福岡県
305		前・後期	268	津屋崎土人形(雀笛)	福岡県
306		前・後期	269	古賀人形(ホーホー鳥)	長崎県
307		前・後期	270	尾崎人形(からす)	福岡県
308		前・後期	273	別府の土笛(うぐいす)	大分県
309		前・後期	275	名古屋土人形(鳩笛)	愛知県
310		前・後期	277	赤坂人形(鳩)	福岡県
311		前・後期	696	津屋崎人形(にわとり)	福岡県
312		前・後期	780	みくじ鳩	大分県
313		前・後期	898	トキ土鈴	新潟県
314		前・後期	1043	とっと車	福島県
315		前・後期	1044	宮島張子(おしどり)	広島県
316		前・後期	1045	沖繩張子(鳩)	沖縄県
317		前・後期	1047	沖繩張子(闘鶏)	沖縄県
318		前・後期	1739	笹野一刀彫(お鷹ぼっぼ)	山形県
319		前・後期	1740	うそ	熊本県
320		前・後期	1741	うそ	熊本県
321		前・後期	1743	笹野一刀彫(鶏)	山形県
322		前・後期	1747	笹野一刀彫(鶏)	山形県
323		前・後期	1748	笹野一刀彫(鶏)	山形県
324		前・後期	1751	うそ	東京都
325		前・後期	1752	うそ	東京都
326		前・後期	1758	笹野一刀彫(お鷹ぼっぼ)	山形県
327		前・後期	1995	宮島張子(おしどり)	広島県
328	(いぬ)	前・後期	178	中野土人形(犬)	長野県
329		前・後期	179	富山人形(犬)	富山県

No.		展示期間 (前期後期)	資料番号	名称	製作地都道府県
330		前・後期	181	香泉人形(犬)	高知県
331		前・後期	183	御守犬	奈良県
332		前・後期	186	吉備津のこま犬	岡山県
333		前・後期	189	帖佐人形(犬)	鹿児島県
334		前・後期	500	静岡張子(犬・狎)	静岡県
335		前・後期	511	会津張子(会津こま犬)	福島県
336		前・後期	521	浜松張子(犬車・犬ころがし)	静岡県
337		前・後期	523	箆かぶり犬	東京都
338		前・後期	524	箆かぶり犬	東京都
339		前・後期	904	芝原人形(犬)	千葉県
340		前・後期	1060	高松張子(犬)	香川県
341		前・後期	1375	鈴斗犬	愛媛県
342		前・後期	1858	浜松張子(犬)	静岡県
343		前・後期	1947	犬っ子まつり	秋田県
344	(いのしし)	前・後期	231	山崎の猪	京都府
345		前・後期	1034	張子(十二支・亥)	島根県
346		前・後期	2302	倉敷張子(十二支・亥)	岡山県
347	(きつね)	前・後期	246	伏見人形(馬乗り狐)	京都府
348		前・後期	247	今戸焼(羽織狐)	東京都
349		前・後期	1054	鳥取張子	鳥取県
350	(ねこ)	前・後期	261	住吉人形(初辰猫)	大阪府
351		前・後期	264	中野土人形(猫)	長野県
352		前・後期	265	今戸焼(招き猫)	東京都
353		前・後期	440	乙川の土人形(招き猫)	愛知県
354		前・後期	501	静岡張子(猫)	静岡県
355	(たぬき)	前・後期	1061	高松張子 狸だるま	香川県
356		前・後期	1144	彦一こま(たぬきコマ)	熊本県

さかなとくじら

357		前・後期	254	堺の土人形(鯛車)	大阪府
358		前・後期	1049	御坊人形(鯛車)	和歌山県
359		前・後期	1051	静岡張子(祝鯛)	静岡県
360		前・後期	1056	鯨車	高知県
361		前・後期	1286	鹿児島神宮の諸玩(鯛車)	鹿児島県
362		前・後期	1386	鯨っ子車	愛知県
363		前・後期	1725	柳井の金魚ちょうちん	山口県
364		前・後期	1727	柳井の金魚ちょうちん	山口県
365		前・後期	1730	出雲大社の灯玩具(鯛車)	島根県
366		前・後期	1732	春日部張子(鯨車)	埼玉県

きじうま

367		前・後期	1287	あだたら山うずら車	福島県
368		前・後期	1288	きじ車	大分県
369		前・後期	1290	人吉のきじ馬	熊本県
370		前・後期	1291	湯前のきじ馬	熊本県
371		前・後期	1292	湯前のきじ馬	熊本県
372		前・後期	1295	久峰観音のうずら車	宮崎県
373		前・後期	1303	うずら車	宮崎県
374		前・後期	1304	清水観音のきじ車	福岡県
375		前・後期	1305	清水観音のきじ車	福岡県
376		前・後期	1306	清水観音のきじ車	福岡県

No.		展示期間 (前期後期)	資料番号	名称	製作地都道府県
377		前・後期	2020	多良木のきじ馬	熊本県
378		前・後期	2021	湯前のきじ馬	熊本県
379		前・後期	2022	湯前のきじ馬	熊本県
380		前・後期	2138	カチカチ車	佐賀県

首人形

381		前・後期	1112	船渡張子(松茸背負いおかめ)	埼玉県
382		前・後期	1484	大津絵首人形	滋賀県
383		前・後期	1485	薩摩首人形	鹿児島県
384		前・後期	1486	春日部張子	埼玉県
385		前・後期	1488	金比羅デコ	香川県
386		前・後期	1492	薩摩首人形	鹿児島県
387		前・後期	1499	佐和田の佐与吉つまみ人形	新潟県
388		前・後期	1501	下総首人形(水戸街道)	千葉県
389		前・後期	1506	首人形 (いちろんさんのでつころぼう)	静岡県
390		前・後期	1511	阿波の首でこ	徳島県
391		前・後期	1653	船渡張子(一本足傘)	埼玉県
392		前・後期	1733	おばけの金太	熊本県
393		前・後期	1734	おばけの金太	熊本県
394		前・後期	2285	四日市の大入道	三重県
395		前・後期	2287	四日市の大入道	三重県

うごかすおもちゃ

396		前・後期	1074	串馬(赤・白)	愛知県
397		前・後期	1263	春駒	岡山県
398		前・後期	1647	東照宮の牛若と弁慶(牛若)	愛知県
399		前・後期	1661	東照宮の牛若と弁慶(弁慶)	愛知県
400		前・後期	1666	下総首人形(かぐや姫)	千葉県
401		前・後期	1670	回りねずみ	愛知県
402		前・後期	1682	板角力	熊本県

姉様人形

403		前・後期	970	中山土人形(串姉コ)	秋田県
404		前・後期	971	中山土人形(串姉コ)	秋田県
405		前・後期	974	庄内姉様	山形県
406		前・後期	975	庄内姉様	山形県
407		前・後期	977	松江姉様人形	島根県
408		前・後期	986	松本姉様人形	長野県
409		前・後期	988	中山土人形(串姉コ)	秋田県

紙びなと押絵びな

410		前・後期	995	御守雛	和歌山県
411		前・後期	996	青島神社の神雛	宮崎県
412		前・後期	997	流しびな	鳥取県
413		前・後期	999	紀州田辺船魂さま	和歌山県
414		前・後期	1003	松本押絵	長野県
415		前・後期	1225	なぎ人形	和歌山県
416		前・後期	2296	粉河流し雛	和歌山県
417		前・後期	1000	薩摩糸びな(ひな人形)	鹿児島県

だるま1

418		後期	285	富山土人形(だるま)	富山県
-----	--	----	-----	------------	-----

No.		展示期間 (前期後期)	資料番号	名称	製作地都道府県
419		後期	601	仙台張子(松川だるま／宝船)	宮城県
420		後期	606	あゆみダルマ	岩手県
421		後期	611	白鉢巻だるま	岩手県
422		後期	615	仙台張子(松川だるま)	宮城県
423		後期	616	仙台張子(松川だるま／えびす)	宮城県
424		後期	619	山形張子(だるま)	山形県
425		後期	622	紙塑民芸品 和紙人形(だるま)	富山県
426		後期	623	三角だるま	新潟県
427		後期	641	仙台張子(松川だるま)	宮城県
428		後期	1449	水原の山口人形(三角だるま)	新潟県
429		後期	1452	水原の山口人形(三角だるま)	新潟県
430		後期	1453	水原の山口人形(三角だるま)	新潟県
431		後期	1457	りんごの木のダルマ	青森県
432		後期	1458	若狭うるしダルマ	福井県
433		後期	1460	三角だるま	新潟県
434		後期	1467	水原の山口人形(三角だるま)	新潟県
435		後期	1468	水原の山口人形(三角だるま)	新潟県
436		後期	1469	水原の山口人形(三角だるま)	新潟県

だるま2

437		後期	286	弓野人形(姫だるま)	佐賀県
438		後期	593	静岡張子(だるま)	静岡県
439		後期	598	姫路張子(鉢巻だるま)	兵庫県
440		後期	599	静岡張子(だるま)	静岡県
441		後期	602	甲州だるま(信玄だるま)	山梨県
442		後期	604	女だるま	高知県
443		後期	605	甲州だるま(信玄だるま)	山梨県
444		後期	607	春日部張子(だるま背負い)	埼玉県
445		後期	608	静岡張子(ひげだるま)	静岡県
446		後期	609	博多張子(だるま)	福岡県
447		後期	610	越谷だるま(五色だるま)	埼玉県
448		後期	612	博多張子(女だるま)	福岡県
449		後期	614	高松張子(狸々だるま)	香川県
450		後期	617	姫だるま	大分県
451		後期	627	金天だるま	愛媛県
452		後期	629	姫だるま	愛媛県
453		後期	632	八栗だるま	香川県
454		後期	633	柏張子(だるま)	千葉県
455		後期	634	甲州だるま(親子だるま)	山梨県

※映像資料「仙台つつみ人形」(東北放送文化事業団製作、20分)を企画展示室内で常時上映した。

## (2) 企画展「古墳時代のマジカルワールド」

### ◆展示意図

古墳時代の人々は、山や海、巨岩など自然に対して神まつりを行う一方、私たちからすると異様とも呼べる巨大な古墳を築いて、死者を葬った。本展示では、鏡や石製・土製の祭具類、古墳に立て並べられた埴輪などの資料を展示し、当時の信仰の姿を紹介した。自然の脅威や人の死に直面した時、どのように祈り、乗り越えようとしたのか、当時の人々のこころの世界に迫った。



- ◆主催 松戸市立博物館(企画担当 小林孝秀(当館学芸員))
- ◆後援 (公財)松戸市文化振興財団 (一社)松戸市観光協会  
千葉テレビ放送株式会社
- ◆協力 新京成電鉄株式会社 流鉄株式会社 北総鉄道株式会社
- ◆会期 令和3年10月2日(土)～11月21日(日)[44日間]
- ◆観覧者数 6,216人
- ◆観覧料 一般 310円(企画・常設展共通520円)  
高大生 150円(企画・常設展示共通250円)、中学生以下無料
- ◆印刷物 展示図録 A 4判 1,500冊  
ポスター B 2判 400枚  
ポスター B 3判 410枚  
チラシ A 4判 20,000枚  
展示資料一覧 A 4判 2,000部 (館で製作・印刷)  
こどもワークシート A 5判 1,000部 (館で製作・印刷)

### ◆関連企画

#### (1) 講演会

※講演会定員は通常80名である。新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、チラシ等の事前広報の段階では定員30名として募集したが、その後の感染状況を鑑み、抽選時に人数制限を緩和し、定員50名として抽選を実施した。

- ・記念講演会①「古墳時代の葬送儀礼」(会場：当館講堂)  
対象者 一般  
開催月日 令和3年10月30日(土)13時00分～15時00分  
講師 日高 慎氏(東京学芸大学教授)  
参加人数 43人
- ・記念講演会②「筑波山信仰の源流－巨石と水の神まつり－」(会場：当館講堂)  
対象者 一般  
開催月日 令和3年11月13日(土)13時00分～15時00分  
講師 塩谷 修氏(川村学園女子大学教授)  
参加人数 41人
- ・学芸員講演会「古墳時代の祭祀と儀礼」(共催：博物館友の会/会場：当館講堂)  
対象者 一般  
開催月日 令和3年11月6日(土)13時00分～15時00分  
講師 小林 孝秀(当館学芸員)  
参加人数 44人

(2) 企画展関連プログラム

- ・「埴輪ぬりえ&しおりづくり」(会場：企画展示室／プレイルーム)

対象者 一般(こどもから大人まで)

開催月日 会期中の期間すべて

内容 展示した埴輪をモチーフとしたぬりえ(全6種)を行ない、パウチ加工してオリジナルしおりを製作する。

参加人数 延べ830名

- ・「こどもワークシート」(会場：企画展示室)

対象者 一般(こどもから大人まで)

開催月日 会期中の期間すべて

内容 展示資料をさがしたり、特徴をじっくり観察したり、クイズに答えたりするワークシートを実施した。参加者には終了後、館で製作した企画展オリジナル埴輪館バッジ(全2種)を配布した(会期後半限定)。

参加人数 集計なし(企画展示室入口)

- ・企画展解説動画「10分でわかる！令和3年度企画展「古墳時代のマジカルワールド」」

内容 企画展の見どころ紹介の動画を館で製作し当館ホームページ上で公開した。

再生回数 571回

- ・古墳時代のマジカルアイテムを作ろう (共催：森のこども館／会場：縄文の森・森の工芸館)

対象者 一般(こどもから大人まで)

開催月日 令和3年10月2日(土)・3日(日)

講師 西村 広経(当館学芸員)

内容 軟らかい石を削って古墳時代の神まつりの道具(マジカルアイテム)を製作。

参加者数 延べ180人(1日目80人/2日目100人)

(3) 連携事業「まつど文化のMOR I 2021」

- ・謎解きラリー

対象者 景品は小学生以下が対象

開催月日 令和3年8月1日(日)～11月21日(日)

内容 博物館、21世紀の森と広場、森のホール21を回って謎解きラリーを実施。終了後、参加者には博物館にて景品あり。

参加者数 延べ871人

(4) その他

- ・「観覧無料デー」(文化の日)

対象者 一般(こどもから大人まで)

開催月日 令和3年11月3日(水・祝日)

観覧者数 1,083人

## ◆展示資料

## 序章 古墳時代の信仰を探る(\*パネル展示)

## 第I章 神まつりの世界

## 1. 山・巨石と神まつり

○:千葉県指定有形文化財 ●:成田市指定文化財

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
1	小型鏡	山ノ神遺跡 奈良県桜井市	5-6世紀	1	東京国立博物館
2	石製模造品				
2-1	有孔円板	山ノ神遺跡 奈良県桜井市	5-6世紀	5	東京国立博物館
2-2	勾玉形	山ノ神遺跡 奈良県桜井市	5-6世紀	8	東京国立博物館
2-3	白玉	山ノ神遺跡 奈良県桜井市	5-6世紀	3	東京国立博物館
3	埴形土製品	山ノ神遺跡 奈良県桜井市	5-6世紀	3	東京国立博物館
4	鉄銚	建銚山遺跡 福島県白河市	5世紀	1	國學院大學博物館
5	鉄槍	建銚山遺跡 福島県白河市	5世紀	1	國學院大學博物館
6	小型鏡	建銚山遺跡 福島県白河市	5世紀	1	國學院大學博物館
7	石製模造品				
7-1	鏡形	建銚山遺跡 福島県白河市	5世紀	1	國學院大學博物館
7-2	有孔円板	建銚山遺跡 福島県白河市	5世紀	1	國學院大學博物館
7-3	劍形	建銚山遺跡 福島県白河市	5世紀	1	國學院大學博物館
7-4	鎌形	建銚山遺跡 福島県白河市	5世紀	1	國學院大學博物館
7-5	斧形	建銚山遺跡 福島県白河市	5世紀	1	國學院大學博物館
7-6	勾玉形	建銚山遺跡 福島県白河市	5世紀	1	國學院大學博物館
7-7	白玉	建銚山遺跡 福島県白河市	5世紀	1	國學院大學博物館
8	石製模造品の垂下例	建銚山遺跡 福島県白河市	5世紀	1	國學院大學博物館
9	小型鏡	洗田遺跡 静岡県下田市	5-6世紀	1	國學院大學博物館
10	石製模造品				
10-1	有孔円板	洗田遺跡 静岡県下田市	5-6世紀	2	國學院大學博物館
10-2	劍形	洗田遺跡 静岡県下田市	5-6世紀	1	國學院大學博物館
10-3	勾玉形	洗田遺跡 静岡県下田市	5-6世紀	2	國學院大學博物館
11	玉類				
11-1	勾玉	洗田遺跡 静岡県下田市	5-6世紀	2	國學院大學博物館
11-2	切子玉	洗田遺跡 静岡県下田市	5-6世紀	1	國學院大學博物館
12	土製模造品				
12-1	鏡形	洗田遺跡 静岡県下田市	5-6世紀	4	國學院大學博物館
12-2	勾玉形	洗田遺跡 静岡県下田市	5-6世紀	3	國學院大學博物館
12-3	丸玉	洗田遺跡 静岡県下田市	5-6世紀	3	國學院大學博物館
13	手握ね土器	洗田遺跡 静岡県下田市	5-6世紀	1	國學院大學博物館
14	高坏形	洗田遺跡 静岡県下田市	5-6世紀	3	國學院大學博物館
15	須恵器片	洗田遺跡 静岡県下田市	5-6世紀	3	國學院大學博物館
16	鉄製品片	洗田遺跡 静岡県下田市	5-6世紀	3	國學院大學博物館
17	手握ね土器	天白磐座遺跡 静岡県浜松市	4-6世紀	12	浜松市地域遺産センター
18	土師器鉢	天白磐座遺跡 静岡県浜松市	4-6世紀	1	浜松市地域遺産センター
19	土師器坏	天白磐座遺跡 静岡県浜松市	4-6世紀	1	浜松市地域遺産センター

## 2. 水・河川と神まつり

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
20	木製品				
20-1	儀杖	山ノ花遺跡 静岡県浜松市	5世紀	4	浜松市博物館
20-2	蓋	山ノ花遺跡 静岡県浜松市	5世紀	1	浜松市博物館
20-3	劍形	山ノ花遺跡 静岡県浜松市	5世紀	1	浜松市博物館
20-4	刀形	山ノ花遺跡 静岡県浜松市	5世紀	1	浜松市博物館
20-5	鎌形	山ノ花遺跡 静岡県浜松市	5世紀	1	浜松市博物館
20-6	舟形	山ノ花遺跡 静岡県浜松市	5世紀	1	浜松市博物館
20-7	案	山ノ花遺跡 静岡県浜松市	5世紀	1	浜松市博物館
21	勾玉	山ノ花遺跡 静岡県浜松市	5世紀	2	浜松市博物館
22	石製模造品				
22-1	劍形	山ノ花遺跡 静岡県浜松市	5世紀	2	浜松市博物館
22-2	有孔円板	山ノ花遺跡 静岡県浜松市	5世紀	2	浜松市博物館
22-3	勾玉形	山ノ花遺跡 静岡県浜松市	5世紀	2	浜松市博物館
23	銅鏡	長須賀条里制遺跡 千葉県館山市	5-6世紀	1	千葉県教育委員会



No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
24	玉類				
24-1	子持勾玉	長須賀条里制遺跡 千葉県館山市	5-6世紀	1	千葉県教育委員会
24-2	勾玉	長須賀条里制遺跡 千葉県館山市	5-6世紀	2	千葉県教育委員会
25	石製模造品				
25-1	勾玉形	長須賀条里制遺跡 千葉県館山市	5-6世紀	4	千葉県教育委員会
25-2	有孔円板	長須賀条里制遺跡 千葉県館山市	5-6世紀	2	千葉県教育委員会
25-3	剣形	長須賀条里制遺跡 千葉県館山市	5-6世紀	2	千葉県教育委員会
26	手捏ね土器	長須賀条里制遺跡 千葉県館山市	5-6世紀	2	千葉県教育委員会
27	土製模造品				
27-1	鏡形	東田遺跡 千葉県館山市	6-7世紀	4	千葉県教育委員会
27-2	鏡形(円板形)	東田遺跡 千葉県館山市	6-7世紀	2	千葉県教育委員会
27-3	斧形(または剣形)	東田遺跡 千葉県館山市	6-7世紀	2	千葉県教育委員会
27-4	鋏形	東田遺跡 千葉県館山市	6-7世紀	2	千葉県教育委員会
27-5	勾玉形	東田遺跡 千葉県館山市	6-7世紀	2	千葉県教育委員会
27-6	管玉形	東田遺跡 千葉県館山市	6-7世紀	2	千葉県教育委員会
28	手捏ね土器(粗造土器)	東田遺跡 千葉県館山市	6-7世紀	3	千葉県教育委員会

### 3. 海と神まつり

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
29	土製模造品				
29-1	舌	つとるば遺跡 千葉県館山市	6-7世紀	1	國學院大學博物館
29-2	五鈴鏡形	つとるば遺跡 千葉県館山市	6-7世紀	1	國學院大學博物館
29-3	勾玉形	つとるば遺跡 千葉県館山市	6-7世紀	1	國學院大學博物館
29-4	丸玉	つとるば遺跡 千葉県館山市	6-7世紀	5	國學院大學博物館

## 第Ⅱ章 古墳と儀礼

### 1. 鏡の副葬

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
30	画文帯神獸鏡	奈良県桜井市箸中出土	3世紀	1	國學院大學博物館
31	三角縁四神二獸鏡	真土大塚山古墳 神奈川県平塚市	4世紀	1	東京国立博物館
32	銅鏃	真土大塚山古墳 神奈川県平塚市	4世紀	6	東京国立博物館
33	車輪石	出土地不詳	4世紀	1	國學院大學博物館
34	鋏形石	出土地不詳	4世紀	1	國學院大學博物館
35	車輪石	島の山古墳 奈良県川西町	4世紀	2	東京国立博物館
36	直弧文鏡(複製品)	新山古墳(大塚陵墓参考地) 奈良県広陵町	4世紀	1	宮内庁書陵部
37	三角縁二神二獸鏡	新山古墳(大塚陵墓参考地) 奈良県広陵町	4世紀	1	宮内庁書陵部
38	三角縁三神三獸鏡	新山古墳(大塚陵墓参考地) 奈良県広陵町	4世紀	1	宮内庁書陵部

### 2. 石製品の副葬

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
39	石釧	新山古墳(大塚陵墓参考地) 奈良県広陵町	4世紀	1	宮内庁書陵部
40	車輪石	新山古墳(大塚陵墓参考地) 奈良県広陵町	4世紀	2	宮内庁書陵部
41	石製鏃	新山古墳(大塚陵墓参考地) 奈良県広陵町	4世紀	5	宮内庁書陵部
42	車輪石	伝巢山古墳出土 奈良県広陵町	4世紀	3	宮内庁書陵部
43	鋏形石	伝巢山古墳出土 奈良県広陵町	4世紀	2	宮内庁書陵部

### 3. 古墳の創出と葬送儀礼

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
44	二重口縁壺	箸墓古墳(倭迹迹日百襲姫命大市墓) 奈良県桜井市	3世紀	1	宮内庁書陵部
45	特殊器台(破片)	箸墓古墳(倭迹迹日百襲姫命大市墓) 奈良県桜井市	3世紀	12	宮内庁書陵部
46	特殊壺(破片)	箸墓古墳(倭迹迹日百襲姫命大市墓) 奈良県桜井市	3世紀	1	宮内庁書陵部
47	二重口縁壺	桜井茶白山(外山茶白山)古墳 奈良県桜井市	3-4世紀	1	國學院大學博物館
48	鉄剣	神門3号墳 千葉県市原市	3世紀	1	市原市教育委員会

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
49	鉄槍	神門3号墳 千葉県市原市	3世紀	1	市原市教育委員会
50	鉄鏃	神門3号墳 千葉県市原市	3世紀	2	市原市教育委員会
51	鎧	神門3号墳 千葉県市原市	3世紀	1	市原市教育委員会
52	管玉・ガラス製小玉	神門3号墳 千葉県市原市	3世紀	1	市原市教育委員会
53	二重口縁壺	神門3号墳 千葉県市原市	3世紀	3	市原市教育委員会
54	手焙形土器	神門3号墳 千葉県市原市	3世紀	1	市原市教育委員会
55	瓢壺	神門3号墳 千葉県市原市	3世紀	1	市原市教育委員会
56	小型鉢	神門3号墳 千葉県市原市	3世紀	1	市原市教育委員会
57	高坏	神門3号墳 千葉県市原市	3世紀	1	市原市教育委員会
58	壺	溜ノ上遺跡 千葉県松戸市	3世紀	2	松戸市教育委員会
59	複合口縁壺	富山遺跡 千葉県松戸市	3世紀	1	松戸市教育委員会
60	壺	富山遺跡 千葉県松戸市	3世紀	1	松戸市教育委員会
61	壺	富山遺跡 千葉県松戸市	3世紀	2	松戸市教育委員会

#### 4. 古墳出土の石製模造品

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
62	石製模造品				
62-1	刀子形	カトンボ山古墳 大阪府堺市	5世紀	3	東京国立博物館
62-2	斧形	カトンボ山古墳 大阪府堺市	5世紀	2	東京国立博物館
62-3	鎌形	カトンボ山古墳 大阪府堺市	5世紀	2	東京国立博物館
62-4	有孔円板	カトンボ山古墳 大阪府堺市	5世紀	1	東京国立博物館
62-5	勾玉	カトンボ山古墳 大阪府堺市	5世紀	3	東京国立博物館
62-6	白玉	カトンボ山古墳 大阪府堺市	5世紀	1	東京国立博物館
63	石製模造品				
63-1	斧形(袋状)	日下ヶ塚(常陸鏡塚)古墳 茨城県大洗町	4世紀	3	國學院大學博物館
63-2	斧形(板状)	日下ヶ塚(常陸鏡塚)古墳 茨城県大洗町	4世紀	1	國學院大學博物館
63-3	刀子形	日下ヶ塚(常陸鏡塚)古墳 茨城県大洗町	4世紀	2	國學院大學博物館
63-4	鎌形	日下ヶ塚(常陸鏡塚)古墳 茨城県大洗町	4世紀	1	國學院大學博物館
63-5	鎧形	日下ヶ塚(常陸鏡塚)古墳 茨城県大洗町	4世紀	1	國學院大學博物館
63-6	鑿形	日下ヶ塚(常陸鏡塚)古墳 茨城県大洗町	4世紀	1	國學院大學博物館
63-7	鍬形	日下ヶ塚(常陸鏡塚)古墳 茨城県大洗町	4世紀	1	國學院大學博物館
64	鉄製模造品		4世紀		
64-1	斧形(袋状)	日下ヶ塚(常陸鏡塚)古墳 茨城県大洗町	4世紀	1	國學院大學博物館
64-2	斧形(板状)	日下ヶ塚(常陸鏡塚)古墳 茨城県大洗町	4世紀	1	國學院大學博物館
64-3	刀子形	日下ヶ塚(常陸鏡塚)古墳 茨城県大洗町	4世紀	2	國學院大學博物館
64-4	鎌形	日下ヶ塚(常陸鏡塚)古墳 茨城県大洗町	4世紀	1	國學院大學博物館
65	石釧	日下ヶ塚(常陸鏡塚)古墳 茨城県大洗町	4世紀	3	國學院大學博物館
66	立花	日下ヶ塚(常陸鏡塚)古墳 茨城県大洗町	4世紀	1	國學院大學博物館

#### 5. 石枕と儀礼

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
67	石枕	上赤塚1号墳 千葉県千葉市	5世紀	1	千葉県教育委員会
68	立花	上赤塚1号墳 千葉県千葉市	5世紀	6	千葉県教育委員会
69	石製模造品				
69-1	斧形	上赤塚1号墳 千葉県千葉市	5世紀	4	千葉県教育委員会
69-2	鎌形	上赤塚1号墳 千葉県千葉市	5世紀	2	千葉県教育委員会
69-3	刀子形	上赤塚1号墳 千葉県千葉市	5世紀	1	千葉県教育委員会
70	勾玉	上赤塚1号墳 千葉県千葉市	5世紀	3	千葉県教育委員会
71	銅釧	上赤塚1号墳 千葉県千葉市	5世紀	1	千葉県教育委員会

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
72	鋏先	上赤塚1号墳 千葉県千葉市	5世紀	2	千葉県教育委員会
73	鎌	上赤塚1号墳 千葉県千葉市	5世紀	1	千葉県教育委員会
74	斧	上赤塚1号墳 千葉県千葉市	5世紀	2	千葉県教育委員会
75	○ 石枕	猫作・栗山16号墳 千葉県成田市	5世紀	1	成田市教育委員会
76	○ 立花	猫作・栗山16号墳 千葉県成田市	5世紀	8	成田市教育委員会
77	○ 勾玉	猫作・栗山16号墳 千葉県成田市	5世紀	5	成田市教育委員会
78	○ 白玉	猫作・栗山16号墳 千葉県成田市	5世紀	1	成田市教育委員会
79	○ 石枕	猫作・栗山16号墳 千葉県成田市	5世紀	1	成田市教育委員会
80	○ 立花	猫作・栗山16号墳 千葉県成田市	5世紀	1	成田市教育委員会
81	石製模造品				
81-1	○ 刀子形	猫作・栗山16号墳 千葉県成田市	5世紀	1	成田市教育委員会
81-2	○ 斧形	猫作・栗山16号墳 千葉県成田市	5世紀	1	成田市教育委員会
81-3	○ 鎌形	猫作・栗山16号墳 千葉県成田市	5世紀	1	成田市教育委員会
82	○ 勾玉				
82-1	○ 勾玉(滑石製)	猫作・栗山16号墳 千葉県成田市	5世紀	12	成田市教育委員会
82-2	○ 勾玉(瑪瑙製)	猫作・栗山16号墳 千葉県成田市	5世紀	1	成田市教育委員会
83	○ 白玉	猫作・栗山16号墳 千葉県成田市	5世紀	1	成田市教育委員会
84	石枕	台方宮代1号墳 千葉県成田市	5世紀	1	成田市教育委員会
85	石製模造品				
85-1	刀子形	台方宮代1号墳 千葉県成田市	5世紀	2	成田市教育委員会
85-2	刀子形	台方宮代1号墳 千葉県成田市	5世紀	2	成田市教育委員会
86	石枕	船形手黒1号墳 千葉県成田市	5世紀	1	成田市教育委員会
87	立花	船形手黒1号墳 千葉県成田市	5世紀	4	成田市教育委員会
88	立花未製品	船形手黒1号墳 千葉県成田市	5世紀	2	成田市教育委員会
89	棒状未製品	船形手黒1号墳 千葉県成田市	5世紀	1	成田市教育委員会
90	石製模造品 勾玉形	船形手黒1号墳 千葉県成田市	5世紀	2	成田市教育委員会
91	立花	姉崎二子塚古墳 千葉県市原市	5世紀	2	國學院大學博物館
92	石製模造品				
92-1	刀子形	姉崎二子塚古墳 千葉県市原市	5世紀	1	國學院大學博物館
92-2	有孔円板	姉崎二子塚古墳 千葉県市原市	5世紀	1	國學院大學博物館
93	直刀	河原塚1号墳 千葉県松戸市	5世紀	1	松戸市立博物館
94	鉄剣	河原塚1号墳 千葉県松戸市	5世紀	1	松戸市立博物館
95	鉄鎌	河原塚1号墳 千葉県松戸市	5世紀	13	松戸市立博物館
96	鹿角装刀子	河原塚1号墳 千葉県松戸市	5世紀	2	松戸市立博物館
97	鋏先	河原塚1号墳 千葉県松戸市	5世紀	1	松戸市立博物館
98	ガラス製小玉	河原塚1号墳 千葉県松戸市	5世紀	10	松戸市立博物館
99	須恵器壺(破片)	河原塚1号墳 千葉県松戸市	5世紀	2	松戸市立博物館
100	石製模造品				
100-1	刀子形	河原塚1号墳 千葉県松戸市	5世紀	1	松戸市立博物館
100-2	刀子形(柄の破片)	河原塚1号墳 千葉県松戸市	5世紀	1	松戸市立博物館
100-3	剣形(破片)	河原塚1号墳 千葉県松戸市	5世紀	1	松戸市立博物館
101	紡錘車	河原塚1号墳 千葉県松戸市	5世紀	1	松戸市立博物館

### 第三章 埴輪の世界

#### 1. 埴輪の種類と変遷(\*パネル展示)

#### 2. 埴輪の地域性

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
102	● 女子人物埴輪	南羽鳥正福寺1号墳 千葉県成田市	6世紀	1	成田市教育委員会
103	● 男子人物埴輪	南羽鳥正福寺1号墳 千葉県成田市	6世紀	1	成田市教育委員会
104	● 男子人物埴輪	南羽鳥正福寺1号墳 千葉県成田市	6世紀	1	成田市教育委員会
105	● 馬形埴輪	南羽鳥正福寺1号墳 千葉県成田市	6世紀	1	成田市教育委員会
106	● ムササビ形埴輪	南羽鳥正福寺1号墳 千葉県成田市	6世紀	1	成田市教育委員会
107	● 魚形埴輪	南羽鳥正福寺1号墳 千葉県成田市	6世紀	1	成田市教育委員会
108	● 水鳥形埴輪	南羽鳥正福寺1号墳 千葉県成田市	6世紀	4	成田市教育委員会
109	● 鶏形埴輪	南羽鳥正福寺1号墳 千葉県成田市	6世紀	1	成田市教育委員会
110	● 鷹形埴輪(鷹匠埴輪の一部か)	南羽鳥正福寺1号墳 千葉県成田市	6世紀	1	成田市教育委員会
111	● 円筒埴輪	南羽鳥正福寺1号墳 千葉県成田市	6世紀	2	成田市教育委員会
112	● 朝顔形埴輪	南羽鳥正福寺1号墳 千葉県成田市	6世紀	1	成田市教育委員会

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
113	琴を弾く人物埴輪	殿部田1号墳 千葉県芝山町	6世紀	1	芝山仁王尊・観音教寺 (保管: 芝山町立芝山古墳・ はにわ博物館)
114	武人埴輪	殿部田1号墳 千葉県芝山町	6世紀	1	芝山仁王尊・観音教寺 (保管: 芝山町立芝山古墳・ はにわ博物館)
115	家形埴輪	殿部田1号墳 千葉県芝山町	6世紀	1	芝山仁王尊・観音教寺 (保管: 芝山町立芝山古墳・ はにわ博物館)
116	太鼓を叩く人物埴輪	群馬県佐波郡境町大字上武士	6世紀	1	東京国立博物館
117	顎髭をもつ人物埴輪	経僧塚古墳 千葉県山武市	6世紀	1	芝山仁王尊・観音教寺 (保管: 芝山町立芝山古墳・ はにわ博物館)
118	女子人物埴輪	経僧塚古墳 千葉県山武市	6世紀	1	芝山仁王尊・観音教寺 (保管: 芝山町立芝山古墳・ はにわ博物館)
119	馬形埴輪	経僧塚古墳 千葉県山武市	6世紀	1	芝山仁王尊・観音教寺 (保管: 芝山町立芝山古墳・ はにわ博物館)
120	男子人物埴輪	大木台2号墳 千葉県印西市	6世紀	1	印西市立印旛歴史民俗資料館
121	女子人物埴輪	大木台2号墳 千葉県印西市	6世紀	1	印西市立印旛歴史民俗資料館
122	円筒埴輪	大木台2号墳 千葉県印西市	6世紀	1	印西市立印旛歴史民俗資料館
123	朝顔形埴輪	大木台2号墳 千葉県印西市	6世紀	1	印西市立印旛歴史民俗資料館
124	○ 筒袖表現の人物埴輪	山倉1号墳 千葉県市原市	6世紀	1	市原市教育委員会
125	○ 円筒埴輪	山倉1号墳 千葉県市原市	6世紀	1	市原市教育委員会
126	女子人物埴輪	栗山古墳群(立出し遺跡) 千葉県松戸市	6世紀	2	松戸市立博物館
127	男子人物埴輪	栗山古墳群(立出し遺跡) 千葉県松戸市	6世紀	1	松戸市立博物館
128	馬形埴輪	栗山古墳群(立出し遺跡) 千葉県松戸市	6世紀	1	松戸市立博物館
129	家形埴輪	栗山古墳群(立出し遺跡) 千葉県松戸市	6世紀	1	松戸市立博物館
130	大刀形埴輪	栗山古墳群(立出し遺跡) 千葉県松戸市	6世紀	1	松戸市立博物館
131	軛形埴輪	栗山古墳群(立出し遺跡) 千葉県松戸市	6世紀	1	松戸市立博物館
132	朝顔形埴輪	栗山古墳群(立出し遺跡) 千葉県松戸市	6世紀	1	松戸市立博物館

終章 祭祀・儀礼が語るもの(\*パネル展示)

### (3) 博学連携展示・こどもミュージアム「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」

#### ◆展示意図

本展示会は、小学校3年生の社会科カリキュラムに対応したもので、100年ぐらい前の農家のくらしを展示し、さらに100年ぐらい前から撮影された松戸の写真によって、まちの姿の変化を表している。今のくらしへどのように変わってきたかを子どもたちに伝えている。



- ◆主催 松戸市立博物館(企画担当 青木俊也<当館学芸員>)
- ◆会期 令和4年1月18日(火)～3月27日(日)(58日間)
- ◆会場 松戸市立博物館 企画展示室
- ◆観覧者数 5,472人  
市内小学校11校見学
- ◆観覧料 無料
- ◆印刷物  

ポスター	B 2判	10枚(館で印刷)
チラシ	A 4判	10,000枚
探検手帳	A 4判 3枚折	500枚(館で印刷)

#### ◆展示資料

##### < 1 > 住まう

資料名	
農家(模型 1/20)	農家の間取り(模型 1/20)

##### < 2 > 食べる

###### (1) かまど

資料名				
かまど(2点) (鋳物、模型 1/1)	まき	火吹き竹(1点)	十能	火挟み
火消し壺	七輪(2点)	渋うちわ(2点)	炭入れ	鉄瓶

###### (2) ご飯を炊く

資料名				
米櫃	一升枡(2点)	五合枡(2点)	一合枡	一斗枡
斗かき	米研ぎ桶	あげざる	羽釜(2点)	飯櫃(2点)
杓文字	飯櫃入れ			

###### (3) おかずを煮炊きする

資料名				
鉄鍋	銅行平鍋	杓子	焼き網	焙烙
せいろ	すり鉢	すりこ木	おろし金(金属製)	おろし金(陶製)
かつお節削り	脚付きまな板	杓文字掛け	あげざる	酒徳利
醤油徳利				

###### (4) 食卓

資料名				
普段のお膳	飯茶碗(2点)	汁椀(2点)	四つ椀	行事のお膳
ちゃぶ台(2点)	土瓶	茶碗(4点)		

###### (5) 水まわりのくらし

資料名				
井戸車	釣瓶桶	手押しポンプ	手桶	水瓶
柄杓	流し台	洗い桶		

###### (6) 食べ物の保存

資料名		
蠅帳(2点)	甕(3点)	漬け物樽(2点)

< 3 > 着る

(1) 着物

資料名			
女の単衣の着物	女の袴の着物と羽織	男の袴の着物と羽織	男子の袴の着物と羽織

(2) 着物がどんな糸で織られているか、見てみよう！

資料名		
木綿の着物	木綿の着物の素材(綿花・木綿糸・紬糸・木綿布)	麻の着物
麻の着物の素材(麻・麻糸・麻布)	絹の着物	醬絹の着物の素材 (繭・真綿・絹糸・絹布・紬糸・紬布)

(3) 裁縫

資料名			
針箱	くけ台	尺差し	裁ち板

(4) 洗濯

資料名				
たらい	金だらい	洗濯板	洗濯石鹼	鍔
火のし	炭火アイロン			

< 4 > くらす

(1) 冬のくらし

資料名				
火鉢	五徳	火箸	灰ならし	鉄瓶
炭おこし	十能(炭運び)	炭入れ	やぐら炬燵(2点)	行火
湯たんぽ(陶製)	湯たんぽ(ブリキ製)	掻い巻き布団	敷布団	

(2) 夏のくらし

資料名				
蚊帳	蚊遣りぶた	うちわ	すだれ屏風	すだれ
布団一式(敷布団・掛布団・枕)				

(3) 明かり

資料名				
燭台	手燭	行灯	がんどう	小田原提灯
ランプ(2点)	蛍光灯スタンド			

(4) 掃除

資料名		
座敷ほうき	ぞうきん	バケツ

(5) 聞く

資料名	
蓄音機	ラジオ

< 5 >写真で見る松戸のうつりかわり

(1) 知ってる場所、あるかな? ~昭和時代などの松戸の写真~

展示内容	資料名称
大正から昭和時代にかけて撮影された市内各所の写真を、松戸市の地図とともに 1 枚の大きなパネルに表示し展示した。	小金城趾駅 (1967 年 / 昭和 42 年)
	北小金駅前 (1954 年 / 昭和 29 年)
	稲刈り (1952 年 / 昭和 27 年)
	夏の姉妹 (1951 年 / 昭和 26 年)
	農家の働く妻と姉妹 (1954 年 / 昭和 29 年)
	流山鉄道:流鉄馬橋駅 (1968 年 / 昭和 43 年)
	台風24号の水害(馬橋駅西口) (1981 年 / 昭和 56 年)
	畑の妻とその母 (1954 年 / 昭和 29 年)
	六間川 (1935 年 / 昭和 10 年頃)
	北松戸駅 (1958 年 / 昭和 33 年)
	小僧弁天 (1936 年 / 昭和 11 年頃)
	坂川排水機(樋野口) (1909 年 / 明治 42 年)
	陸軍工兵学校 (1936 年 / 昭和 11 年以前)
	松戸小学校 (1930 年 / 昭和 5 年頃)
	千葉県立園芸高等学校 (1929 年 / 昭和 4 年以前か)
	凍った坂川 (1935 年 / 昭和 10 年頃)
	春雨橋と小僧さん (1936 年 / 昭和 11 年)
	松戸角町 (1936 年 / 昭和 11 年以前)
	江戸川の釣り (1934 年 / 昭和 9 年)
	葛飾橋 (1936 年 / 昭和 11 年以前)
	松戸町水泳場 (1915 年 / 大正 4 年)
	江戸川 (1936 年 / 昭和 11 年)
	矢切の渡し船 (1968 年 / 昭和 43 年)
	常盤平団地 (1962 年 / 昭和 37 年)
	団地の家族 (1960 年 / 昭和 35 年)
子和清水 (1958 年 / 昭和 33 年)	
八柱霊園 (1936 年 / 昭和 11 年頃)	
六実ゴルフ場 (1936 年 / 昭和 11 年以前)	
六実駅改札 (1983 年 / 昭和 58 年)	

(2) 知ってる場所、あるかな？～昭和時代と令和時代の写真をくらべてみよう～

展示内容	資料名称
<p>松戸市の地図上に示された27地点の昭和時代と令和時代の同じ地点の写真を並べて展示した。</p>	幸田第一公園(1987年/2019年)
	新松戸駅(旧国鉄/JR)(1973年/2019年)
	小金城址駅(流鉄流山線)(1967年/2019年)
	旭町 坂川端の石造物(1986年/2019年)
	馬橋駅(流鉄流山線)(1954年/2019年)
	馬橋駅(旧国鉄/JR)(1968年/2019年)
	北松戸競輪場前踏切 / 北松戸競輪場前歩行者用の橋(旧踏切)(1973年/2019年)
	上本郷駅(新京成線)(1970年/2019年)
	古ヶ崎小僧弁天(1936年/2019年)
	松戸駅西口(1957年/2019年)
	松戸駅東口商店街(1971年頃/2019年)
	坂川市民清掃行動デー / 坂川(1988年/2019年)
	下横町の旧渡道場(1977年/2019年)
	角町交差点(1985年/2019年)
	北小金駅前(1954年/2019年)
	北小金駅(旧国鉄/JR)(1954年/2019年)
	小金原若芝交差点(1986年/2019年)
	常盤平駅(新京成線)(1966年/2019年)
	常盤平スロープ歩道(1974年/2019年)
	五香駅前商店街(1970年頃/2019年)
	五香駅(新京成線)(1970年/2019年)
	六実駅(旧東武野田線 / 東武アーバンパークライン)(1970年/2019年)
	常盤平 子和清水(1986年/2019年)
八柱霊園(1936年/2019年)	
河原塚古墳(1986年/2019年)	
八柱駅(新京成線)(1970年/2019年)	
運動公園体育館(1974年/2019年)	



### 3 学習支援

#### (1) 講演会

※参加人数の上限は通常80名であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数制限をした。

##### ■館長講演会

演 題 「家形埴輪をよみとく」  
対 象 者 一般  
開催月日 令和3年9月19日(日)  
会 場 当館講堂  
参加人数 27人(応募人数39人、応募多数につき抽選)

##### ■歴史を語る

第1回 演 題 「郷土玩具と二人の人類学者－正五郎と敬三－」(山田)  
「天神人形と菅原道真－天神信仰のうつりかわり－」(村山)  
対 象 者 一般  
開催月日 令和3年7月18日(日)  
講 師 山田 尚彦(当館学芸員)  
村山 翠(目黒区めぐろ歴史資料館学芸員)  
会 場 当館講堂  
参加人数 11人(応募人数12人、抽選)

第2回 演 題 「近世の村の脅し鉄砲」  
対 象 者 一般  
開催月日 令和3年9月25日(土)  
講 師 中西 崇氏(聖光学院中学校高等学校教諭)  
会 場 当館講堂  
参加人数 18人(応募人数22人、抽選)

第3回 演 題 「極東ロシアの考古学と日本列島－日露国際共同研究の最前線－」  
対 象 者 一般  
開催月日 令和3年12月4日(土)  
講 師 福田 正宏(東京大学大学院准教授)  
会 場 当館講堂  
参加人数 30人(応募人数38人、抽選)

■学芸員講演会(会場:当館講堂13:00～15:00当日先着順)  
各学芸員が専門分野について講演した。

開催月日	タイトル	講師	参加人数 (うち友の会会員)
令和3年7月24日(土)	「幕末江戸の麻疹パンデミック」	富澤 達三	22人(7人)
11月16日(土)	「古墳時代の祭祀と儀礼」	小林 孝秀	44人(8人)
令和4年2月13日(日)	「北国からみた松戸の縄文土器」	西村 広経	32人(12人)
2月19日(土)	「戦国時代／松戸まわりの四方山壱」	中山 文人	32人(0人)
2月27日(日)	「寄贈・奥井俊美シルクロードコレクションについて」	大森 隆志	18人(11人)
3月5日(土)	「常盤平団地60年の生活史」	青木 俊也	26人(7人)

## (2) 講座

※講座の各回定員：近世中級編Ⅰ・吾妻鏡を読むは15人、近世中級編Ⅱ・近世入門編は20人。対象者：一般)

### ■古文書を読む(近世入門編)(会場:当館実習室)

開催月日 令和4年1月16日(日)～3月13日(土)までの隔週土曜日(全5回)

講師 富澤 達三(当館学芸員)

内容 当館が所蔵する一紙ものの江戸時代の古文書を解説しながら、基本的なくずし字の解説を詳しく行った。

応募人数 36人(抽選)

参加人数 延べ90人(①20人②15人③18人④18人⑤19人)

### ■古文書を読む(近世中級編Ⅰ)(会場:当館実習室)

開催月日 令和3年9月18日(土)～11月13日(土)までの隔週土曜日(全5回)

講師 和泉 清司氏(高崎経済大学名誉教授)

内容 千駄堀の名主・土屋亮平家文書の御用留を解説した。テキストは「弘化四年 未十一月 御鹿狩二付 御用留帳」(23-32頁)、「嘉永二年酉四月 南相馬御用留」(~8頁)を使用した。

応募人数 23人(抽選)

参加人数 延べ70人(①14人②14人③15人④14人⑤13人)

### ■古文書を読む(近世中級編Ⅱ)(会場:当館実習室)

開催月日 令和4年1月15日(土)～3月12日(土)までの隔週土曜日(全5回)

講師 出口 宏幸氏(江東区文化財主任調査員)

内容 近世中級編Ⅰで解説した「嘉永二年酉四月 南相馬御用留」を引き続き使用し、8～50頁まで解説した。

応募人数 27人(抽選)

参加人数 延べ89人(①17人②19人③17人④20人⑤16人)

### ■吾妻鏡を読む(会場:女性センターゆうまつど)

対象者 一般

開催月日 令和3年9月2日(木)～10月28日(木)までの隔週木曜日と11月12日(金)(全5回)

内容 「吾妻鏡(北条本・国立公文書館蔵)」の写真版を、寿永3(1184)年正月元旦から26日までを解説・解説した。木曾義仲の滅亡に冷淡な吾妻鏡を補うため、同時期の貴族の日記『玉葉』の紹介・解説に時間を割いた。

講師 中山 文人(当館学芸員)

応募人数 23人(抽選)

参加人数 延べ60人(①14人②10人③12人④12人⑤12人)

### ■松戸市パートナー講座

実施年月日	内容	主催者	派遣講師	参加人数
令和3年 7月6日(火)	小金城と根木内城	松戸シティガイド8期生	中山 文人 (当館学芸員)	9人
8月20日(金)	小金城と根木内城	まつど匠ガイド	中山 文人 (当館学芸員)	7人

■その他講師派遣等

実施年月日	内容	主催者	派遣講師	場所	参加人数
令和3年 5月25日(火)	やさしい教養講座「松戸市立博物館の古文書を眺めていたら、関東・東海の大事件がわかった」	生涯学習推進課	中山 文人 (当館学芸員)	矢切公民館	14人
8月20日(金)	やさしい教養講座「松戸市立博物館の古文書を眺めていたら、関東・東海の大事件がわかった」	生涯学習推進課	中山 文人 (当館学芸員)	矢切公民館	8人
12月8日(水)	令和3年度第2回県内古墳詳細分布調査委員会議	千葉県教育委員会	小林孝秀 (当館学芸員)	公益財団法人千葉県教育振興	10人
12月12日(日)	郷土資料館セミナー「東葛の近・現代」	鎌ヶ谷市郷土資料館	青木俊也 (当館学芸員)	鎌ヶ谷市郷土資料館	30人
令和4年 1月22日(土)	令和3年度出土遺物公開事業「らくがく縄文館」講演「異形土器の広域分布と地域間の交流」	公益財団法人千葉県教育振興	西村広経 (当館学芸員)	千葉県立中央博物館	62人

(3) 体験学習

■体験教室「裂き織りをしてみませんか」(友の会共催)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
令和4年2月8日(火)	① 09:30~10:10 ② 10:30~11:10 ③ 11:30~12:10 ④ 13:30~14:10	一般	青木 俊也 (当館学芸員)	—	中止
内容:古い布を裂いて、新しい布に再生する。					

■こども体験教室「親も楽しむ土鈴づくり」

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
令和3年8月7日(土)	① 10:00~12:00 ② 13:30~14:00	小学生と保護者の方 ※児童だけの参加も可	大森 隆志 (当館学芸員)	50人	16人(児童8人、保護者8人)
内容:粘土で縄文時代の鈴(土鈴)を作る。					

■こども体験教室「親も楽しむ勾玉づくり」

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
令和3年8月7日(土)	① 10:00~12:00 ② 13:30~14:00	小学生と保護者の方 ※児童だけの参加も可	西村 広経 (当館学芸員)	59人	16人(児童8人、保護者8人)
内容:やわらかい石をみがいて勾玉(まがたま)を作る。					

■こども体験教室「裂き織りをしてみませんか」(友の会共催)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
令和4年2月11日(祝)	① 09:30~10:10 ② 10:30~11:10 ③ 11:30~12:10 ④ 13:30~14:10	小学生と保護者の方 ※児童だけの参加も 可	青木 俊也 (当館学芸員)	—	中止
内容:古い布を裂いて、新しい布に再生する。					

■くらしのうつりかわり体験教室「桶を担いでみよう」

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
① 令和4年1月29日(土)	13:10~16:00の あいだ随時体験可	小学3~6年生	青木 俊也 (当館学芸員) 博物館友の会	—	中止
② 2月12日(土)				—	中止
③ 2月26日(土)				—	中止
④ 3月12日(土)				—	中止
⑤ 2月26日(土)				—	中止
内容:水道がなかったころ、水汲みに使われていた桶を実際にかついでみる。					

■くらしのうつりかわり体験教室「紙芝居と昔の遊びを楽しむ日」

開催日	時間	対象者	講師	参加人数
令和4年3月27日(日)	11:10 ~ 15:30	こどもから大人まで	・紙芝居 紙芝居屋てるさん	38人
				34人
			・昔の遊び 博物館友の会	76人
内容:紙芝居・けん玉・こまなど、昔のこどものたちの世界を再現し、体験する。				

### (3) 体験学習

■ミュージアムシアター

公共上映の権利を有する映像ソフトを、講堂において毎日・月替わりで定時上映した。ただし講演会等の開催時には、上映を中止した。

上映時間 午後1時15分、午後3時15分

※土日祝日の午後1時15分上映分は「キッズシアター」として、子ども向けプログラムを上映した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上映を縮減した。

ミュージアムシアター

上映月	映像タイトル	上映日数	観覧者数	1日平均
令和3年4月	炭鉱<ヤマ>に生きる	25日	66人	2人
5月	現代日本の形成過程第28巻 道路~ぬかるみから高速道路まで	26日	49人	1人
6月	セーノカミの勸進 ~戸隠 栃原 追通集落の小正月行事~	20日	39人	1人
7月	徐保光が見た琉球 ~冊封と琉球~	22日	37人	1人
8月	石の声~沖縄戦マラリア地獄の記憶~	26日	71人	2人
9月	森浩一が語る日本の古代5 古墳時代1	22日	64人	2人

上映月	映像タイトル	上映日数	観覧者数	1日平均
10月	森浩一が語る日本の古代6 古墳時代2	26日	87人	3人
11月	司馬遼太郎と城を歩く4 上田城・高取城・洲本城・丸亀城	22日	121人	5人
12月	機器更新のため休止			
令和4年1月	機器更新のため休止			
2月	奇跡の映像 よみがえる100年前の世界7 中東 分割の悲劇	20日	69人	3人
3月	日本の染と織2 草木染／京の草木染	26日	68人	2人
合計		235日	671人	2人

#### 土日祝日のキッズシアター

上映月	映像タイトル	上映日数	観覧者数	1日平均
令和3年4月	ヤマタノオロチ、サトリ女と桶屋、匂いのお返し	9日	46人	5人
5月	闇を裂く雄叫び、タコほねなし、元犬	13日	57人	4人
6月	町のねずみと田舎のねずみ、おしらさま、うさぎとカメ	7日	41人	5人
7月	蛇息子、カッパとわらざうり、そら豆とわらと炭	8日	60人	7人
8月	味噌買い橋、猫檀家、鳥呑み爺さん	9日	23人	2人
9月	天狗の隠れみの、鬼婆さんが仲人、閻魔様はハチゴロどん	8日	22人	2人
10月	きき耳ずきん、犬と猫と宝物、幽霊の歌よみ	9日	62人	6人
11月	たのきゅう、てえてえ小法師、にせ地蔵	8日	57人	7人
12月	機器更新のため休止			
令和4年1月	機器更新のため休止			
2月	かぐや姫、鬼の妹、まんじゅうこわい	7日	40人	5人
3月	うばすて山、水の神の文使い、運のよいにわか侍	8日	60人	7人
合計		86日	468人	5人

※ミュージアムシアター・キッズシアターとも、1日平均値は小数点以下切り捨て。

#### ■プレイルーム

年齢を問わず、いつでも来館者が楽しめる場所として無料で開放している。

新型コロナウイルス感染症対策のため、アンギン編み、糸車による糸つぐみの体験は中止し、これらはプレイルーム・スタッフによる実演のみを行った。

その他では歴史資料を題材とするパズル・ぬりえを行った他、企画展示等に合わせて缶バッジやコースター作りも実施した。

#### (5) 館内公開

対象者 一般

開催月日 令和3年8月1日(日)

内容 博物館の多様な活動への理解を促進するため、通常非公開のバックヤード(車庫、荷解梱包室、燻蒸室、学芸員室、スタジオ、機械室、収蔵庫)を紹介・解説するもの。

応募人数 6人

参加人数 5人

## (6) ガイドツアー(常設展示解説)

※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行っていない。

## (7) 情報提供

### ■閲覧コーナー

購入図書及び関係諸機関との交換図書の閲覧サービスを行っている。蔵書の一部は開架で提供している。

※蔵書のうち21,181冊のMARC化を行い、令和3年12月1日から松戸市立図書館の図書検索システムを通じて館蔵図書の公開を開始した。なお、令和4年4月1日の「まつどデジタルミュージアム」の開始に伴いOPACのページを開設し、博物館HPからも図書の検索が可能になった。

- ・蔵書数(令和4年3月31日現在)

開架図書冊数	1,283冊
閉架図書冊数	42,172冊
合計	43,457冊
- ・閲覧コーナーの利用者数 1,550人
- ・閉架図書の利用状況

利用人数	38人
利用冊数	95冊
- ・視聴覚資料数

ビデオテープ	418巻
C D	88枚
D V D	48枚
- ・図書交換機関数 348ヶ所
- ・購入による逐次刊行物の数 36タイトル
- ・受贈及び交換による逐次刊行物の数 205タイトル

### ■刊行物

令和3年度の刊行物は次の通りである。

- ・松戸市立博物館年報 第28号  
A4判72頁(本文71頁) 500部 令和3年9月30日
- ・松戸市立博物館紀要 第29号  
A4判40頁(本文37頁) 800部 令和4年3月31日

### ■SNSによる情報発信

令和元年4月29日に当館公式 Facebook、Twitter、Instagram を開設し、最新情報を発信している。

### ■動画公開

新型コロナウイルス蔓延を受けて、当館ホームページで企画展の解説動画を公開した。

- ①「10分でわかる! 令和3年企画展『古墳時代のマジカルワールド』(解説: 小林 孝秀、令和3年10月29日より公開)

## ■おうちミュージアム

令和2年1月以降、日本でも新型コロナウイルスが蔓延し、全国の博物館が閉館となるなか、3月4日に北海道博物館の呼びかけで、家で長時間を過ごす子供たちのために全国の博物館が“おうちで楽しく学べる”アイデアをオンラインで提供する「おうちミュージアム」が始まった。当館も令和2年4月下旬から参加し、令和2年度から引き続き、ホームページから情報発信を行った。

## ■まつどデジタルミュージアム

新型コロナウイルスが蔓延し、おうち時間が増える中、松戸の歴史や文化をもっと深く、広くお知らせしたい。そんな思いから、松戸市立博物館と戸定歴史館が収蔵する貴重な資料を中心にウェブ上で公開し、解説を加えたもので、令和4年3月末から稼働している。多種多様なコンテンツの実際は、下記のURLを参照のこと。

<https://matsudo-digital-museum.jp>

## ■ミュージアムショップ

刊行物とミュージアムグッズを販売している。

※価格は税込

ミュージアムグッズ		
ジグソーパズル	5種類	各 900 円
	1種類	1,200 円
絵はがき	8種類	各 80 円
テレフォンカード	4種類	各 700 円
埴輪ぬいぐるみキーホルダー 馬・人	2種類 (人完売)	各 350 円
メモ帳		100 円
虚無僧ストラップ(青・緑)	2種類	各 750 円
クリアファイル	3枚セット	100 円
一筆箋	4種類	各 300 円
縄文土器レプリカ深鉢型土器		完売
クリアファイル コシッキー1体・3体	2種類	各 150 円
ドンちゃんグリちゃん・じょう ちゃんもんちゃんシール		200 円
小風呂敷(下総国小金乃原御狩 之図)		680 円
ダイカットメモ(縄文・古墳)		各 300 円
手ぬぐい	2種類	各 550 円
不織布トート	3色	各 150 円
機織りハンドメイドポーチ		1,700 円

資料集・報告書	
松戸市立博物館歴史資料集 1 東漸寺所蔵資料目録	700 円
松戸市立博物館歴史資料集 2 青木源内家所蔵資料目録追加	700 円
松戸市立博物館映像記録 VTR 送り大師 東葛飾印旛大師講の人々	完売
松戸市立博物館報告書 1 松戸の三匹獅子舞(VTR 含む)	5,400 円
松戸市立博物館報告書 2 縄文時代以降の松戸の海と森の復元	1,200 円
松戸市立博物館報告書 3 松戸市民家調査報告書	完売

資料集・報告書	
松戸市立博物館報告書 4 松戸旧宿場町建築物調査報告書	2,100 円
松戸市立博物館報告書 5 農村松戸の民俗 —1960 年代調査の記録—	800 円
松戸市立博物館報告書 6 松戸市役所広報課旧蔵写真目録	900 円

図 録	
改訂版 常設展示図録(平成16年度)	完売
開設記念展 松戸写真館—カメラがとらえた 松戸の人々—(平成5年度)	完売
特別展 縄文土器の世界(平成5年度)	1,000 円
企画展 救いの民俗 —地獄極楽冥土の旅—(平成6年度)	完売
特別展 馬と牧 —かつて松戸は牧場だった—(平成6年度)	完売
企画展 稲と魚 —水田をめぐる漁・猟・採集—(平成7年度)	900 円
特別展 古墳時代の飾り馬 —馬利用のはじまりをさぐる—(平成7年度)	完売
企画展 小金城主高城氏 (平成8年度・平成13年度再版)	完売
特別展 シルクロードとガンダーラ(平成8年度)	1,000 円
特別展 福神の世界(平成9年度)	完売
特別展 ネアンデルタール人の復活(平成10年度)	1,000 円
企画展 水戸道中—宿場と旅人—(平成10年度)	完売
特別展 貝塚を考える(平成10年度)	1,200 円
企画展 戦後松戸の生活革新 —新しい暮らし方へのあこがれ—(平成12年度)	完売
企画展 中世の東葛飾 —いのり・くらし・まつりごと—(平成13年度)	1,200 円
企画展 弥生人の脳発見! —とっとり青谷上寺地遺跡展—(平成14年度)	完売

図 録		
企画展	はにわの十字路 - 古代東国の交流と地域性 - (平成14年度)	1,000円
特別展	川の道 江戸川(平成15年度)	完売
企画展	昔のくらし探検<松戸版>(平成16年度)	500円
企画展	ペルシャ文明の曙 - 文明の基層を探る - (平成17年度)	1,000円
企画展	戦国の城をさぐる - 松戸市根本内歴史公園開園記念 - (平成18年度)	1,000円
企画展	大名の旅 - 本陣と街道 - - 本陣と街道 - (平成19年度)	1,000円
特別展	縄文時代の東・西(平成20年度)	1,000円
企画展	人生儀礼の世界(平成21年度)	1,000円
企画展	湯浅喜代治 考古コレクション - 夢を追った70年 - (平成22年度)	1,000円
企画展	東日本の古墳と渡来文化 - 海を越える人とモノ - (平成24年度)	完売
特別展	松戸の発掘60年史 - 市内の遺跡を再検討 - (平成25年度)	1,000円
企画展	Plastic ? /Plastic ! - 高度経済成長とプラスチック - (平成26年度)	1,000円
企画展	石斧と人 - 3万年のあゆみ - (平成28年度)	800円
企画展	本土寺と戦国の社会(平成29年度)	900円
特別展	ガンダーラ - 仏教文化の姿と形 - (平成30年度)	1,000円
企画展	松戸と徳川将軍の御鹿狩 (令和2年度)	1,000円
企画展	古墳時代のマジカルワールド(令和3年度)	1,000円

紀 要		
松戸市立博物館紀要	第1号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第2号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第3号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第4号	700円
松戸市立博物館紀要	第5号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第6号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第7号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第8号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第9号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第10号	1,000円
松戸市立博物館紀要	第11号	500円
松戸市立博物館紀要	第12号	500円
松戸市立博物館紀要	第13号	400円
松戸市立博物館紀要	第14号	500円
松戸市立博物館紀要	第15号	500円
松戸市立博物館紀要	第16号	600円
松戸市立博物館紀要	第17号	500円
松戸市立博物館紀要	第18号	500円
松戸市立博物館紀要	第19号	400円
松戸市立博物館紀要	第20号	500円
松戸市立博物館紀要	第21号	600円
松戸市立博物館紀要	第22号	500円

紀 要		
松戸市立博物館紀要	第23号	400円
松戸市立博物館紀要	第24号	300円
松戸市立博物館紀要	第25号	400円
松戸市立博物館紀要	第26号	500円
松戸市立博物館紀要	第27号	500円
松戸市立博物館紀要	第28号	500円

松戸市史		
松戸市史 上巻		完売
松戸市史 上巻(改訂版) 「原始・古代・中世」		3,000円
松戸市史 中巻「近世」		5,500円
松戸市史 下巻(一)「明治」		4,000円
松戸市史 下巻(二)「大正・昭和」		3,900円
松戸市史史料編(一)「大熊家文書」		2,800円
松戸市史史料編(二)「近世諸家文書」		完売
松戸市史史料編(三)「萬満寺史料」		3,500円
松戸市史史料編(四)「本土寺史料」		5,500円
松戸市史史料編(五)上「秋谷家文書」		8,050円
松戸市史史料編(五)下「秋谷家文書」		7,500円
松戸市史史料編(六)「東漸寺史料」		5,000円
松戸市古文書目録(一)「諸家文書」		1,100円
松戸市古文書目録(二)「諸家文書」		1,500円
松戸市古文書目録(三)「本土寺文書他」		2,000円
松戸市古文書目録(四)「秋谷家文書」		2,500円
松戸市史考古資料集1 大谷口遺跡の土師器と須恵器		300円
松戸市史考古資料集2 千駄堀寒風台遺跡出土遺物を中心とする考古資料		300円
松戸市史考古資料集3 関場遺跡第2地点出土旧石器資料報告・ 寒風台遺跡出土石器再整理報告		300円
松戸市史考古資料集4 上本郷遺跡出土の縄文時代後期から晩期を 中心とする考古資料		400円



## 4 連携事業

### (1) 博学連携プログラム

#### ①受入

##### ■博物館実習

令和3年度博物館実習生

班	所属
第1班	立正大学 文学部史学科 4年生
	東京成徳大学 人文学部日本伝統文化学科 4年生
	淑徳大学 人文学部歴史学科 4年生
	東洋大学 文学部史学科 4年生
第2班	聖心女子大学 文学部史学科 4年生
	桜美林大学 芸術文化学群(演劇・ダンス専修) 4年生
	日本女子大学 文学部史学科 4年生
	目白大学 社会学部地域社会学科 4年生

#### (1) 合同実習

月 日	午 前	午 後
7月25日(日)	合同実習説明、バックヤード見学	常設・企画展示見学、レポート作成

#### (2) 個別

第1班 令和3年7月29日(木)～8月4日(水)

月 日	午 前	午 後
7月29日(木)	歴史資料整理	同左
7月30日(金)	こども体験教室(土鈴づくり)準備	同左
7月31日(土)	こども体験教室(土鈴づくり)	同左
8月1日(日)	戸定歴史館見学	流山市立博物館見学
8月3日(火)	実習成果発表準備	同左
8月4日(水)	地域博物館の在り方研究(発表)	まとめ・レポート作成

第2班 令和3年8月5日(木)～8月11日(水)

月 日	午 前	午 後
8月5日(木)	戸定歴史館見学	流山市立博物館見学
8月6日(金)	こども体験教室(勾玉づくり)準備	同左
8月7日(土)	こども体験教室(勾玉づくり)	同左
8月8日(日)	歴史資料整理	同左
8月9日(月)	実習成果発表準備	同左
8月11日(水)	地域博物館の在り方研究(発表)	まとめ・レポート作成

##### ■教員・生徒の職場研修・職場体験学習の受け入れ

例年、博物館の活用等を目的とした教員対象の体験研修、児童・生徒の勤労観・社会観を育成するための職場体験学習他を行ってきたが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

## ②派遣

### ■出前講座

市内の小学校・中学校を対象とし、当該校からの要請に応え、博物館学芸員及び学習支援専門員が、通常の授業の中でゲストティーチャーとして指導・支援を行った。

#### ・松戸特別支援学校

対象者 中学部 6人、および教員 3人

開催日時 令和3年7月8日(木)10:30~11:30

内容 「じょうもんじだいのくらし」と題した講義を行った。縄文土器やアングイン衣装の実物にふれてもらい、理解の一助とした。

講師 西村 広経(当館学芸員)、鶴沼 豊(当館学習支援専門員)

#### ・専修大学松戸中学校

対象者 中学2年生152人

開催日時 令和3年11月27日(土)10:40~11:25

内容 「松戸の江戸時代 村について」のタイトルで、松戸市域の村落について、古文書などの資料もまじえて講義した。

講師 富澤 達三(当館学芸員)

### ■校内研修

市内の小学校・中学校を対象とし、当該校からの要請に応え、博物館学芸員および学習支援専門員が、講話を行った。

#### 常盤平第一小学校

対象者 教職員 15人

開催日時 令和3年4月16日(金)15:00~16:30

内容 「常盤平の歴史・文化」を主題に、常盤平周辺の歴史や文化について講義した。

講師 富澤達三(当館学芸員)

### ■なりきり縄文人

連携対象 松戸市こどもわかもの課 森のこども館事業

対象者 小学生・保護者

開催月日 令和3年4月4日(日)

内容 竪穴住居の概要説明、住居内見学、石器によるどんぐり加工体験をおこなった。

会場 森の工芸館

講師 西村広経(当館学芸員)

参加人数 29人

### ■古墳時代のマジカルアイテムを作ろう

連携対象 松戸市こどもわかもの課 森のこども館事業

対象者 一般(こどもから大人まで小学生・保護者)

開催月日 令和3年10月2日(土)

内容 軟らかい石を削って古墳時代の神まつりの道具(マジカルアイテム)を製作した。

会場 森の工芸館

講師 西村広経(当館学芸員)

参加人数 延べ 180人(1日目80人/2日目100人)29人

■風鈴づくり

連携対象 松戸市こどもわかもの課 森のこども館事業  
 対象者 小学生・保護者  
 開催月日 令和3年8月8日(日)  
 内容 風鈴作りを行った。  
 会場 森の工芸館  
 講師 富澤 達三(当館学芸員)  
 参加人数 2人

③事業

■博物館でアート

対象者 ①②小学校、③中学生、④成人(定員各10人)  
 開催日時 ①令和3年8月1日(日)13:30～15:30  
 ②令和3年8月8日(日)13:30～15:30  
 ③令和3年8月21日(土)13:30～15:30  
 ④令和3年10月16日(土)13:30～15:30  
 内容 博物館の環境を利用して、さまざまな造形活動に取り組む。令和3年度は色えんぴつの基本をマスターし、古代文様のデザインに挑戦した。  
 講師 学習支援専門員  
 参加人数 合計23人 ①5人、②6人、③4人、④8人

■第6回博物館アワード

趣 旨 博学連携の一環として、博物館の機能並びに環境を生かしたコンクールを開催することにより、児童生徒の博物館に対する理解を深めるとともに、博物館の積極的な活用を推進する機会とする。

募集概要

(1) 募集内容並びに募集対象者

①歴史に関する自由研究部門

・小学生3・4年の部、小学生5・6年の部、中学生の部

②歴史に関するイラスト部門

・小学生3・4年の部、小学生5・6年の部、中学生の部

(2) 募集期間

・令和3年9月1日(水)～9月17日(日)

(3) 表彰

①自由研究部門各部の最優秀作品の中から市長賞1点、教育長賞1点、博物館長賞1点、さらに9点が優秀賞。その他40点が佳作。

②イラスト部門各部最優秀作品の中から市長賞1点、教育長賞1点、博物館長賞1点、さらに9点が優秀賞。その他38点が佳作。



応募点数

	小学生3・4年の部	小学生5・6年の部	中学生の部	合計
自由研究部門	43	146	113	302
イラスト部門	67	112	157	336

応募校数

・自由研究部門 27校  
 ・イラスト部門 38校

■第6回博物館アワード作品展

展示意図 第6回博物館アワード(歴史自由研究、歴史イラスト部門)に応募した小中学生、高校生の入賞・入選作を展示した。

主催 松戸市立博物館  
 会期 令和3年12月4日(土)~19日(日)  
 会場 松戸市立博物館 企画展示室  
 観覧料 無料  
 作品数 自由研究部門 52点  
       イラスト部門 336点



自由研究部門 市長賞  
 「商店からわかる松戸の昔のくらし」  
 (北部小学校 4年)



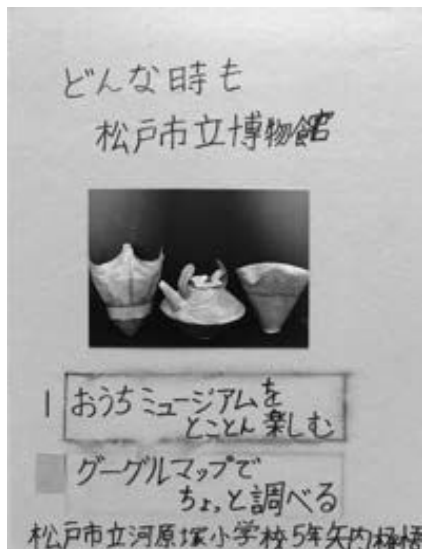
イラスト部門 市長賞  
 「戦国時代最強の男」  
 (馬橋北小学校 6年)



自由研究部門 教育長賞  
 「松戸で戦争を知る」  
 (第六中学校 3年)



イラスト部門 教育長賞  
 「獅子みこし」  
 (野田中央小学校 3年)



自由研究部門 博物館長賞  
「どんな時も松戸市立博物館」  
(河原塚小学校 5年)



イラスト部門 博物館長賞  
「忘れられた物」  
(松戸市立第六中学校 3年)

## (2) その他

### ■「ゲットユアドリーム」事業への協力

#### ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

連携対象 松戸市子どもわかもの課「ゲットユアドリーム」事業

内 容 「ゲットユアドリーム」事業で、中学校へ学芸員を派遣し、博物館学芸員の仕事や経験に関する講義を行う。

### ■MCR学級生「社会教育施設見学会」

連携対象 MCR学級生(※Matsudo child-raising class:学校家庭教育の一環として、市内在住の小中学生の保護者のための学びの場/生涯学習課)

開催月日 令和3年10月4日(木)・5日(金)

内 容 企画展担当学芸員が企画展「古墳時代のマジカルワールド」の概要および博物館の役割を解説後、企画展・常設展示を見学した。

参加人数 延べ8人

### ■「千葉県教育研究会鎌ヶ谷支会社会科教育部会」による企画展・常設展示の見学会

連携対象 鎌ヶ谷市内小中学校社会科教員

開催月日 令和3年11月11日(木)

内 容 企画展担当学芸員が企画展「古墳時代のマジカルワールド」の概要を解説後、企画展・常設展示を見学した。

参加人数 26人

### ■「千葉県教育研究会松戸支会社会科教育部会」による企画展の見学会

連携対象 松戸市内小中学校社会科教員

開催月日 令和3年11月17日(水)

内 容 企画展担当学芸員が企画展「古墳時代のマジカルワールド」の概要を解説後、企画展を見学した。

参加人数 21人

## 5 調査・研究

### (1) 松戸市古文書調査(委託)

博物館における展示の基礎資料を得るため、平成2年度より古文書調査団を組織して調査を行ってきた。今年度は立正大学石山秀和氏(文学部准教授)に委託し、第29次の調査を行った。

### (2) 研究員の活動

「松戸市立博物館研究員設置要項」に則り、研究員を委嘱した。

**柴田 徹**(有限会社 考古石材研究所)

研究テーマ「坂之台遺跡・栗山古墳出土石材の鑑定」

成果:坂之台遺跡の石材観察から石材の流通を復元した。また、栗山古墳群・立出し遺跡の石材の一部を岩石学的視点から観察し、その石材産地を考察するためのデータを得た。

### (3) 学芸員の活動

**中山 文人** 専門分野:日本中世史

研究テーマ:「関東中世史の研究」

[年間活動]

- ・館蔵資料展「小金城・根木内城+郷土玩具リターンズ」のうち、「小金城・根木内城」担当(令和3年4月29～8月22日)
- ・講座講師「吾妻鏡を読む」(全5回・令和3年9月2日～11月12日)
- ・講演会講師 学芸員講演会「戦国時代／松戸まわりの四方山断」(令和4年2月19日)

[外部機関等協力活動]

- ・松戸市パートナー講座講師 松戸シティガイド8期生「小金城と根木内城」(令和3年7月6日)
- ・松戸市パートナー講座講師 まつど匠ガイド「小金城と根木内城」(令和3年8月20日)
- ・やさしい教養講座講師 (令和3年5月26日および10月25日／生涯学習推進課)

[所属学会]

歴史学研究会、地方史研究協議会、日本史研究会、千葉城郭研究会、千葉歴史学会

**青木 俊也** 専門分野:民俗学

研究テーマ「常盤平団地生活史の研究」「戦後生活史展示の研究」「葬墓習俗の研究」

[年間活動]

- ・博学連携展示・こどもミュージアム「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」(令和4年1月18日～3月27日)
- ・講演会講師 学芸員講演会「常盤平団地60年の生活史」(令和4年3月5日)

[外部機関等協力活動]

- ・郷土資料館セミナー東葛の近・現代講座講師(令和3年12月12日)
- ・神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科非常勤講師「博物館歴史資料学特論」(令和3年9月1日～令和4年3月31日)

[所属学会]

日本民俗学会、群馬歴史民俗研究会

**富澤 達三** 専門分野:日本近世史・歴史民俗資料学

研究テーマ:「図像資料による江戸後期から明治初頭の常民文化の研究」「動物から探る松戸の近世」

[年間活動]

- ・講座講師 「古文書を読む(近世入門編)」担当(5回、令和4年1月16日～3月13日までの隔週土曜日)
- ・講演会講師 学芸員講演会「江戸の麻疹パンデミック」(令和3年7月24日)

[外部機関等協力活動]

- ・神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料センター、研究協力者(令和3年4月1日～令和4年3月31日)
- ・出前講座講師 「松戸の江戸時代 村について」(専修大学松戸中学校 令和3年11月27日)

[執筆]

- ・「国策紙芝居のなかの漫画－近藤日出造と横山隆一をめぐって－」『神奈川大学ブックレット41 国策紙芝居－地域への視点・植民地の経験』御茶の水書房、令和4年3月18日

[所属学会]

地方史研究協議会、関東近世史研究会、明治維新史学会、日本民俗学会、国際浮世絵学会

**小林 孝秀** 専門分野:日本考古学・東アジア考古学

研究テーマ:「古墳時代東国社会の研究」「古代東アジア交流史の研究」

[年間活動]

- ・企画展「古墳時代のマジカルワールド」担当(令和3年10月2日～11月21日)
- ・講演会講師 学芸員講演会「古墳時代の祭祀と儀礼」(令和3年11月6日)

[外部機関等協力活動]

- ・駒澤大学文学部非常勤講師「考古学を学ぶ(1)」「考古学を学ぶ(2)」(令和3年4月1日～令和4年3月31日)
- ・専修大学文学部非常勤講師「日本史a(前期)」「日本史b(後期)」(令和3年4月1日～令和4年3月31日)
- ・令和3年度千葉県内古墳詳細分布調査委員

[執筆]

- ・「주우부・간토지방의 최근 발굴 성과」『계간 한국의 고고학』제52호、특집 日本考古学の最新動向을 엿보다、주류성출판사(「中部・関東地方における最近の発掘成果」『季刊韓国の考古学』第52号、特集 日本考古学の最新動向を窺う、周留城出版社)(2021年6月30日)
- ・(編著)『古墳時代のマジカルワールド』松戸市立博物館(令和3年10月2日)
- ・「倭国の渡来系文物」「壁画古墳(装飾古墳)」鈴木靖民監修/高久健二・田中史生・浜田久美子編『古代日本対外交流史事典』八木書店(令和3年11月20日)
- ・「関東出土の朝鮮半島系甗」土生田純之先生退職記念事業会編『人・墓・社会－日本考古学から東アジア考古学へ－』雄山閣(令和4年3月30日)
- ・(韓国語翻訳)沈炫徹(小林孝秀訳)「新羅積石木槨墓の封墳設計方式」土生田純之先生退職記念事業会編『人・墓・社会－日本考古学から東アジア考古学へ－』雄山閣(令和4年3月30日)

[所属学会]

日本考古学協会、日本考古学会、考古学研究会、古代学協会、東北・関東前方後円墳研究会、中四国前方後円墳研究会、茨城県考古学協会、埴輪研究会、専修大学歴史学会、多久那研究会

**西村 広経** 専門分野:先史考古学

研究テーマ:「縄文時代後期中葉土器群の研究」「先史時代における社会複雑化過程の研究」

[年間活動]

- ・口頭発表 考古学研究会第54回東京例会 「異形土器の広域分布と地域性」(令和3年7月31日)
- ・講演会講師 学芸員講演会 「北国からみた松戸の縄文土器」(松戸市立博物館 令和4年2月13日)

[外部機関等協力活動]

- ・出前講座講師 「じょうもんじだいのくらし」(松戸特別支援学校 令和3年7月8日)
- ・講演会講師 千葉県教育振興財団出土品公開事業 「広域分布する異形土器」(千葉県立中央博物館 令和4年1月22日)

[執筆]

- ・「日本列島東北部における縄文時代後期中葉土器群の研究」(学位請求論文、東京大学大学院人文社会系研究科、令和3年5月6日提出、令和3年10月21日学位取得)
- ・「異形土器の広域分布と地域性」考古学研究会東京例会編『考古学研究会第54回東京例会 土器からみた縄文時代後期後半の地域間関係と社会：深鉢・注口土器・異形台付土器・香炉形土器』(令和3年7月31日)

[所属学会]

考古学研究会、青森県考古学会、早稲田大学考古学会

**大森 隆志** 専門分野:考古学

研究テーマ:「中世地下式坑の考古学的研究」

[年間活動]

- ・講演会講師 学芸員講演会「寄贈・奥井俊美シルクロードコレクションについて」(令和4年2月27日)
- ・こども体験教室「親も楽しむ土鈴づくり」(令和3年8月7日)

[執筆]

- ・「松戸市関場遺跡第2地点出土石器について」『松戸市立博物館紀要』第29号(令和4年3月31日)

[所属学会]

日本考古学協会、縄文時代文化研究会、山梨県考古学協会

**山田 尚彦** 専攻分野:日本民俗学・文化人類学

研究テーマ:「地域社会における民俗芸能の継承と葛藤に関する研究」  
「近代知識の大衆化に関する歴史社会学的研究」

[年間活動]

- ・館蔵資料展「小金城・根木内城+郷土玩具展リターンズ」のうち、「郷土玩具展」担当(令和3年4月29日~8月22日)
- ・講演会講師 「歴史を語る」1「郷土玩具と二人の人類学者-正五郎と敬三-」(令和3年7月18日)

[執筆]

- ・「松戸市立博物館蔵「婚礼衣装雛形額」と「白馬図」-裁縫師匠と生徒による寺社奉納品-」『松戸市立博物館紀要』第29号 松戸市立博物館(令和4年3月31日)

[外部機関等協力活動]

- ・千葉大学非常勤講師「博物館資料論A」(令和4年2月1日~令和4年3月31日)

[所属学会]

日本文化人類学会、日本民具学会、文化資源学会、日本写真学会、メディア史研究会、文化財保存修復学会



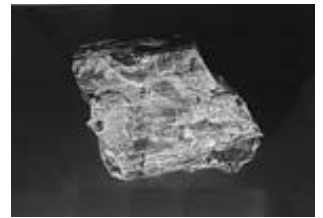
## 6 資料の収集と利用

### (1) 資料の収集

#### 一次資料収集

##### 受贈

・明治大学黒曜石研究センター 様	「黒曜石」	1点
・宮本 寛二 様	「石斧」	1点
・小櫃 亮 様	「小櫃家族写真アルバム」	38点
	「ちゃぶ台」	1点
・澤田 育子 様	「国立松戸療養所関係写真」	43枚
・小暮 高一 様	「小暮高一家文書」	333点
・湯浅 郁香 様	「洋紙製客名簿等」	20点



「黒曜石」



「石斧」

##### 寄託

・上本郷獅子講中 様	「上本郷獅子講中史料」	528点
	「上本郷獅子舞 獅子頭羽根飾り」	3点
・石井正人様	「石井包人家文書」	1227点



「小櫃家族写真アルバム」

##### 購入

・歌川貞秀画	「富士の裾野巻狩之図」(三枚組)	1点
--------	------------------	----

#### 二次資料収集

受贈図書 9冊 (団体4冊、個人5冊)

購入図書 63冊

交換図書 570冊

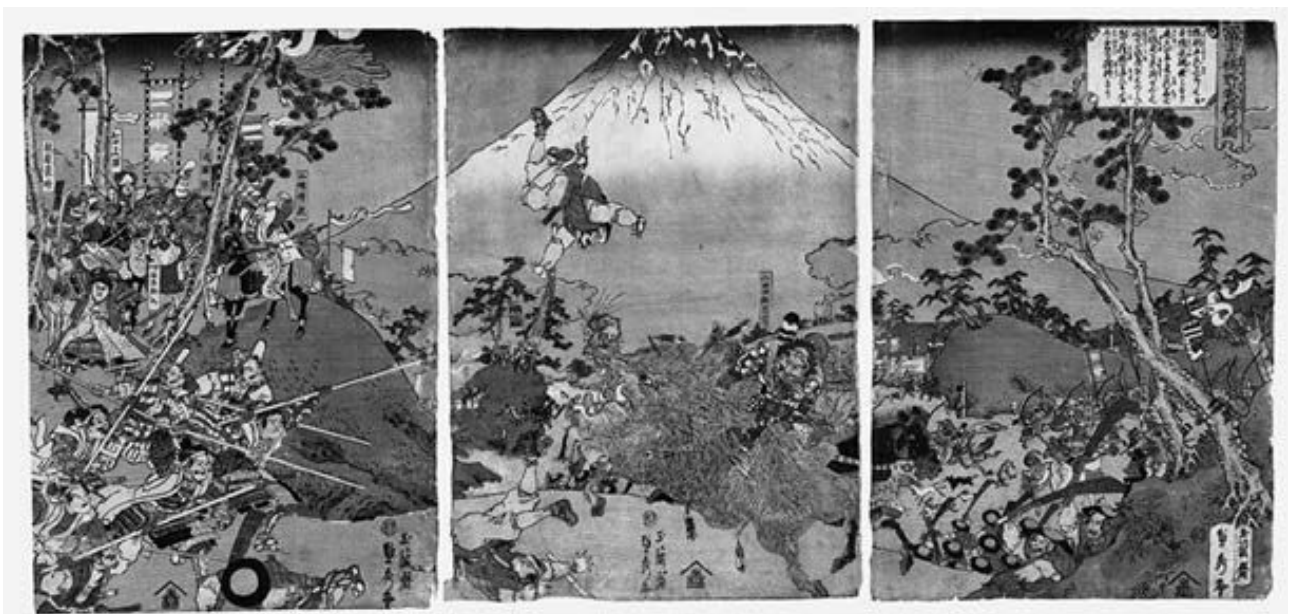
図書交換機関等 348ヶ所

購入逐次刊行物 36タイトル

受贈及び交換逐次刊行物 205タイトル



「洋紙製客名簿等」



歌川貞秀画「富士の裾野巻狩之図」

(2) 博物館資料の貸し出し (令和3年4月1日～令和4年3月31日申請分)

No.	貸出期間	借用者	利用形態	目的	貸出資料・点数
1	令和3年6月17日 ～令和4年3月25日	千葉県教育振興財団	資料貸出	令和3年度出土遺物公開事業「らくがく縄文館」において展示するため	幸田貝塚、馬乗場遺跡、ニッ木向台貝塚、根木内遺跡、子和清水貝塚出土遺物 計6点

(3) 博物館資料の特別利用 (令和3年4月1日～令和4年3月31日申請分)

No.	利用日	利用者	利用形態	目的	利用資料・点数
1	令和3年4月1日	野田もの知り検定企画実行委員会	写真利用	「ちびっこ野田検定」で制作する冊子の挿絵として利用	東海道五拾三次関1点
2	令和3年4月9日	千葉県教育振興財団	調査	出土遺物公開事業に係る借用候補資料の熟覧	幸田貝塚、馬乗場遺跡、ニッ木向台貝塚、根木内遺跡、子和清水貝塚 出土縄文土器8点
3	令和3年4月15日	個人	調査	調査	関武夫文書2点
4	令和3年4月9日	Crayfish株式会社	写真利用	ミツカングループ発行の『水の文化』68号に掲載するため	二十世紀梨原樹写真
5	令和3年7月1日	千葉県立関宿城博物館	調査	企画展に係る資料調査・写真撮影	船鑑札
6	令和3年7月8日	個人	調査	卒業論文作成用の研究	『松戸市古文書目録』所蔵資料10点
7	令和3年7月15日	株式会社ココロマチ	写真利用	Webサイト「このまちアーカイブズ」に掲載するため	『松戸市の昭和』掲載写真ほか23点
8	令和3年7月24日	千葉県教育振興財団	写真撮影	出土遺物公開事業「らくがく縄文館」において利用するため	幸田貝塚、馬乗場遺跡、ニッ木向台貝塚、根木内遺跡、子和清水貝塚 出土縄文土器5点
9	令和3年7月29日	白井市教育委員会	写真利用	白井市作成動画で使用するため	周延画／温故東の花 将軍家於小金原御猪狩之図 1点
10	令和3年8月7日	個人	調査	調査研究	多摩平ニュータウン鳥瞰図1点、豊田地区絵はがき1点、豊田宅地開発絵はがき1点、多摩平ニュータウンしおり1点、多摩平開発パンフレット1点、多摩平賃貸住宅パンフレット1点、多摩平平分譲ポスター1点
11	令和3年8月20日	個人	調査	熟覧調査	大熊義光家文書22箱
12	令和3年9月24日	個人	調査	調査	ガンダーラ浮彫「涅槃・仏塔礼拝」1点
13	令和3年9月24日、26日、30日、10月6日	個人	調査	解説文書調査	大熊文書 災害治水関係ほか22冊
14	令和3年10月17日	個人	調査	卒業論文作成用の研究	『松戸市古文書目録』所蔵資料5点
15	令和3年10月1日	千葉県立関宿城博物館	写真利用	企画展「関宿関所は川関所!?」に掲載するため	船鑑札
16	令和3年10月14日、16日、21日	個人	調査	熟覧調査	大熊義光家文書38点
17	令和3年10月16日	水戸市立博物館	写真利用	特別展「徳川頼房—初代水戸藩主の軌跡—」に利用するため	寛政七年小金原御猪狩絵図1点
18	令和3年10月21日、11月5日	個人	調査	熟覧調査	大熊義光家文書32点
19	令和3年11月11日	個人	調査	調査	和紙公図(松戸町)1点
20	令和3年11月20日	株式会社ロム・インターナショナル	写真利用	書籍『地図でスッと頭に入る縄文時代』に掲載するため	幸田貝塚出土土器1点
21	令和3年11月25日	個人	調査	調査	和紙公図(松戸町)1点

No.	利用日	利用者	利用形態	目的	利用資料・点数
22	令和3年11月28日	個人	調査	卒業論文作成用の研究	『松戸市古文書目録』所蔵資料 4点
23	令和3年12月1日	公益財団法人日本建築家協会(JIA)	写真利用	城北地域会機関紙「KNIT」7号 に掲載するため	温故東の花 第五編 将軍家於小 金原御猪狩之図 1点
24	令和4年1月17日	国立伽耶文化財研究所	写真利用	『伽耶資料叢書－国外資料編 －』に利用するため	行人台遺跡出土遺物写真3点
25	令和4年2月6日	個人	写真利用	写真調査とブログへの掲載	松戸市役所広報課旧蔵書写真 43枚
26	令和4年3月22日	個人	写真利用	博士論文の機関リポジトリを 通した公開のため	常盤平団地の誕生の展示写真 2点
27	令和4年2月11日	戎光出版株式会社	写真利用	書籍『図説 戦国里見氏』に掲載 するため	北条氏康書状(永禄7年1月4 日)、千葉胤富書状(永禄12年2 月29日付)、各1点
28	令和4年4月29日	有限会社プロジェクトド ーン	撮影	テレビ番組「突撃！隣のスゴイ 家」放映のため	常盤平団地の誕生展示 一式
29	令和4年4月1日	株式会社帝国書院	写真利用	高等学校地理歴史科 教材資料 に掲載するため	常盤平団地展示資料1点

#### (4) 資料の燻蒸等

##### [展示室燻蒸]

殺虫・殺卵・殺菌を目的とする密閉燻蒸を行った。

期 間：令和3年6月21日（月）～6月28日（月）

対 象：第1～第4収蔵庫

委 託 先：関東港業（株）

使用薬剤：酸化プロピレン（商品名アルプ）

##### [燻蒸庫燻蒸]

殺虫・殺卵を目的とする燻蒸を2回行った。

期 間：①令和3年8月31日（土）～9月14日（火）

②令和4年2月1日（火）～2月15日（火）

対 象：①館蔵資料展関連資料

②郷土玩具・古文書

委 託 先：関東港業（株）

使用薬剤：①炭酸ガス（二酸化炭素）

②炭酸ガス（二酸化炭素）

##### [学習資料展資料燻蒸]

殺虫・殺卵を目的とする燻蒸を行った。

期 間：令和3年4月7日（水）～4月21日（水）

対 象：学習資料展資料

委 託 先：関東港業（株）

使用薬剤：炭酸ガス（二酸化炭素）

##### [野外展示・復元竪穴住居]

殺虫を目的とする駆除作業を行った。

期 間：令和3年6月24日（木）～6月25日（金）

対 象：復元竪穴住居3棟

委 託 先：関東港業（株）

使用薬剤：フェノトリン炭酸製剤（商品名ミラクンS）

## 7 令和3年度 企画展・館蔵資料展アンケート結果

### ■ 調査方法と設問内容

調査は、アンケート用紙をそれぞれ、企画展示室前ロビーに置き、記入を利用者の任意に任せた調査票自己記入式で行った。

各アンケートに共通する設問は、回答者の性別、年齢、住所、来館回数、博物館に関する情報をどうやって入手したか、交通手段、職業、行動グループ、展示についての印象・感想である。

以下に、回答者の傾向を端的に示した“性別”と“年齢”のクロス集計、及び“来館回数”“満足度”という計3項目の結果をとりあげる。

### (1) 館蔵資料展「小金城・根木内城＋郷土玩具展リターンズ」

■ 観覧者数 6,623人

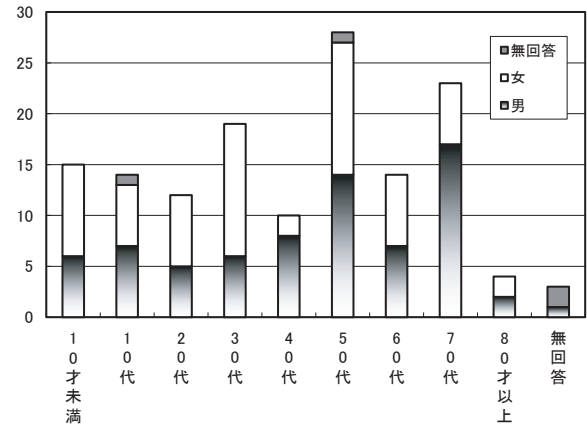
■ アンケート有効回答者数 142件(回答率 2.1%)

■ 調査期間 前期／令和3年4月29日(木・祝)～6月13日(日) 後期／7月6日(火)～8月22日(日)

■ 小金城・根木内城と郷土玩具展の同時開催のため、年齢×性別のクロス集計と来館回数は共通のデータ。満足度はそれぞれの結果を集計している。

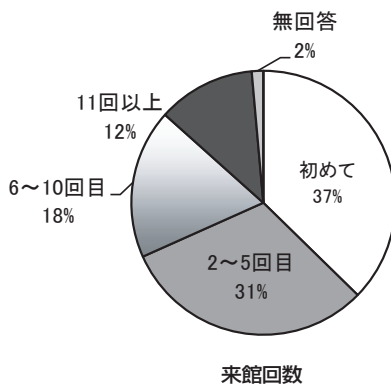
### ■ アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10才未満	6	9		15
10代	7	6	1	14
20代	5	7		12
30代	6	13		19
40代	8	2		10
50代	14	13	1	28
60代	7	7		14
70代	17	6		23
80才以上	2	2		4
無回答	1		2	3
計	73	65	4	142



### ■ 来館回数(件)

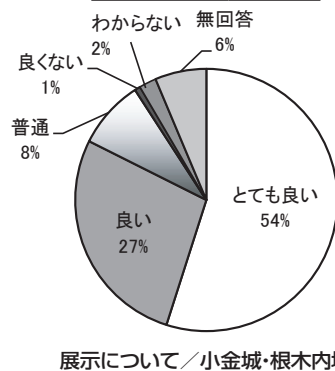
初めて	53
2～5回目	44
6～10回目	26
11回以上	17
無回答	2
総計	142



### ■ 回答者の満足度(件)

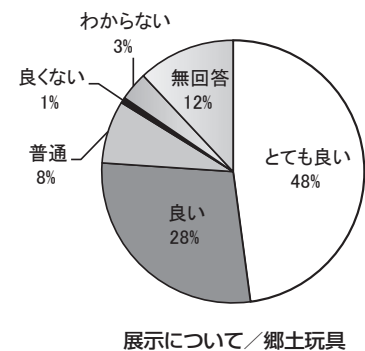
#### 小金城・根木内城

展示について	
とても良い	78
良い	39
普通	12
良くない	1
わからない	3
無回答	9
総計	142



#### 郷土玩具

展示について	
とても良い	68
良い	40
普通	11
良くない	1
わからない	5
無回答	17
総計	142

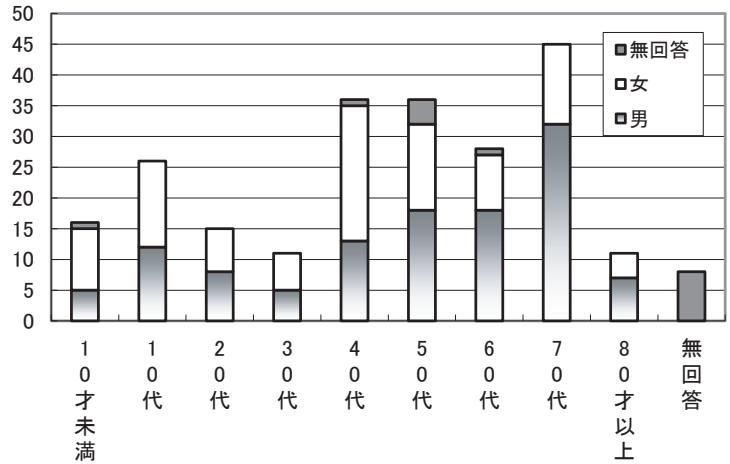


## (2) 企画展「古墳時代のマジカルワールド」

- 観覧者数 6,216人
- アンケート有効回答者数 232件(回答率 3.7%)
- 調査期間 令和3年10月2日(土)～令和3年11月21日(日)

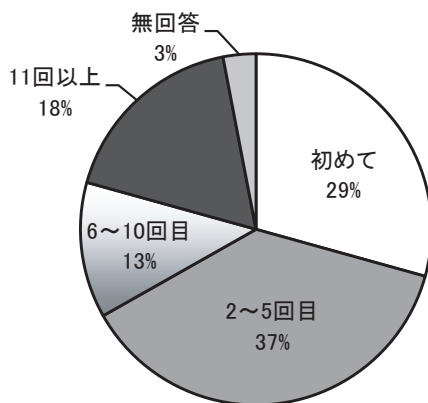
### ■ アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10才未満	5	10	1	16
10代	12	14		26
20代	8	7		15
30代	5	6		11
40代	13	22	1	36
50代	18	14	4	36
60代	18	9	1	28
70代	32	13		45
80才以上	7	4		11
無回答			8	8
計	118	99	15	232



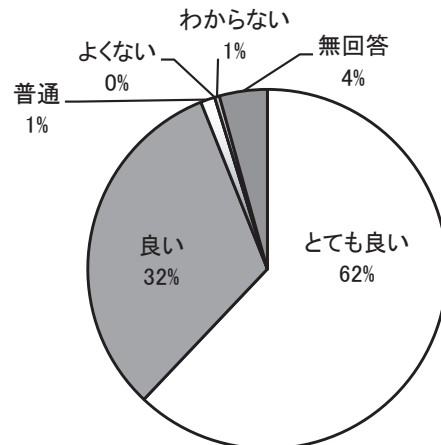
### ■ 来館回数(件)

初めて	68
2～5回目	87
6～10回目	29
11回以上	41
無回答	7
計	232



### ■ 回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	144
良い	74
普通	3
よくない	0
わからない	1
無回答	10
計	232

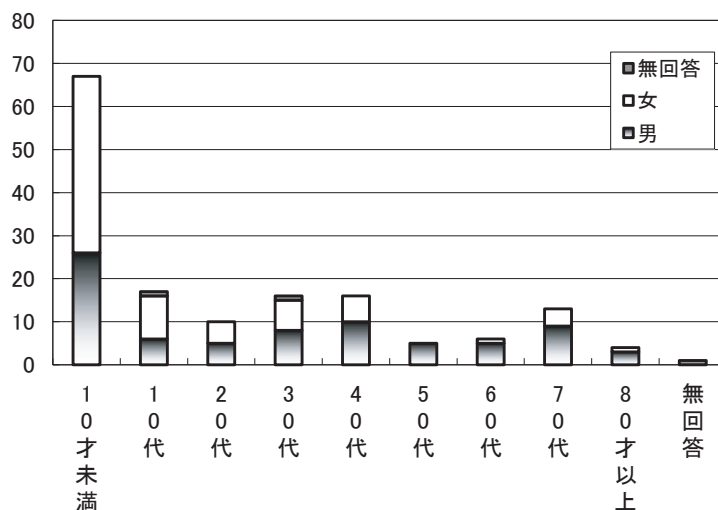


(3) 博学連携展示・こどもミュージアム「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」

- 観覧者数 5,472人
- アンケート有効回答者数 155件(回答率 2.8%)
- 調査期間 令和4年1月18日(火)～令和4年3月27日(日)

■ アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10才未満	26	41		67
10代	6	10	1	17
20代	5	5		10
30代	8	7	1	16
40代	10	6		16
50代	5			5
60代	5	1		6
70代	9	4		13
80才以上	3	1		4
無回答			1	1
計	77	75	3	155

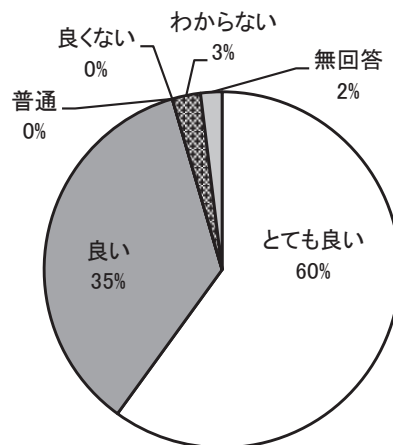
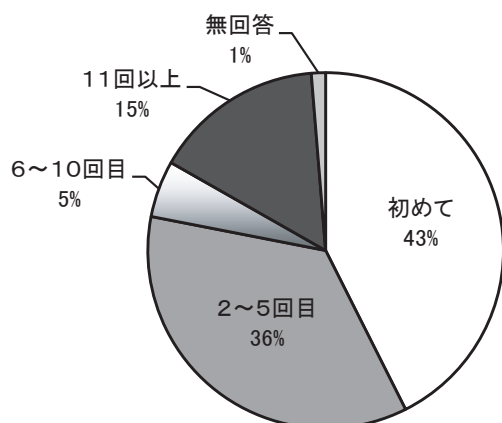


■ 来館回数(件)

初めて	66
2～5回目	55
6～10回目	8
11回以上	24
無回答	2
計	155

■ 回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	93
良い	55
普通	0
良くない	0
わからない	4
無回答	3
総計	155



## 8 新型コロナウイルス感染症への対応

2019年12月に確認された新型コロナウイルス感染症は世界各国で感染が拡大し、社会と経済に大きな影響をもたらした。日本政府は2020年2月25日に「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を示し、当館においても感染防止対策として、手洗い・消毒・マスク着用などに努めた。

当館は2019年3月3日から31日まで感染拡大防止の観点から、臨時休館の対応を行った。2020年4月1日からは、団体見学の利用制限も行い、館活動を再開したが、緊急事態宣言により、4月8日から5月31日まで再び休館し、6月2日より館活動を再開した。

2021年度は、当初より感染症対策を徹底しつつ、国や県の要請や基準に臨機応変に対応しながら、博物館活動を行った。以下では、2021年度内の当館でのコロナ禍への対応を記す。

2021年（令和3年）

- ・ 4月16日（適用日4月20日）  
千葉県内でまん延防止等重点措置（～5月11日）。
  
- ・ 4月29日  
感染症対策を講じながら館蔵資料展「小金城・根木内城+郷土玩具展リターンズ」（前期）開催（6月13日まで）。
  
- ・ 5月8日（適用日5月12日）  
まん延防止等重点措置が延長される（～5月31日）。
  
- ・ 5月22日  
学芸員講演会「戦国時代／松戸まわりの四方山嶮」まん延防止等重点措置の延長に伴い、開催延期（令和4年2月19日開催）。
  
- ・ 5月28日（適用日6月1日）  
まん延防止等重点措置が延長される（～6月20日）。
  
- ・ 6月13日  
感染症対策を講じながら館蔵資料展「小金城・根木内城+郷土玩具展リターンズ」（後期）開催（8月22日まで）。  
学芸員講演会「北国からみた松戸の縄文土器」まん延防止等重点措置の延長に伴い、開催延期（令和4年2月13日開催）。
  
- ・ 6月18日（適用日6月21日）  
まん延防止等重点措置が延長される（～7月11日）。
  
- ・ 7月9日（適用日7月13日）  
まん延防止等重点措置が延長される（～8月22日）。
  
- ・ 7月11日  
学芸員講演会「寄贈・奥井俊美シルクロードコレクションについて」まん延防止等重点措置の延長に伴い、開催延期（令和4年2月27日開催）。
  
- ・ 7月30日（適用日8月2日）  
千葉県も緊急事態宣言の対象となり、まん延防止等重点措置から移行される（～8月31日）。
  
- ・ 8月17日（適用日8月20日）  
緊急事態宣言が延長される（～9月12日）。

- ・ 9月9日（適用日9月13日）  
緊急事態宣言が延長される（～9月30日）。
- ・ 9月30日  
緊急事態宣言が解除となる。
- ・ 10月2日  
感染症対策を講じながら企画展「古墳時代のマジカルワールド」開催（11月21日まで）
- ・ 10月26日  
感染対策を徹底しつつ、入館時の健康観察シート記入を撤廃。講演会参加人数の上限を50人、講座参加人数20人に緩和。講堂の入場制限50人へ緩和。
- ・ 12月4日  
「第6回博物館アワード」作品展開催。

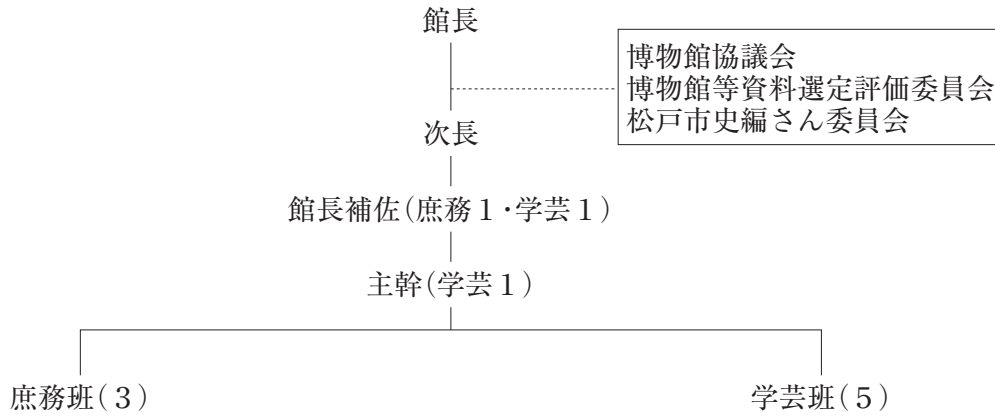
#### 2022年（令和4年）

- ・ 1月18日  
博学連携展示・こどもミュージアム「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」開催 くらしのうつりかわり体験教室「桶を担いでみよう」は感染予防のため開催中止。
- ・ 1月21日（適用日1月21日）  
千葉県内でまん延防止等重点措置（～2月13日）。
- ・ 2月10日（適用日2月14日）  
まん延防止等重点措置が延長される（～3月6日）。
- ・ 2月8日  
体験教室「裂き織りをしてみませんか」、こども体験教室「裂き織りをしてみませんか」感染予防のため開催中止。
- ・ 3月4日（適用日3月7日）  
まん延防止等重点措置が延長される（～3月21日）。
- ・ 3月21日  
まん延防止等重点措置解除。



# IV 組織と運営

## 1 組織



## 2 歳出予算

(単位 千円)

事業 科目	予算額	内訳			
		管理 運営	展示 事業	学習 支援	資料 収集
報酬	304	204	0	0	100
賃金	0	0	0	0	0
報償	1,511	0	971	290	250
旅費	522	0	399	0	123
需用	33,757	21,622	9,337	1,036	1,762
役務	2,758	778	1,666	70	244
委託	112,451	71,396	15,338	1,062	24,655
使用	13,318	9,971	2,483	765	99
工事	0	0	0	0	0
原材	20	20	0	0	0
備品	1,893	9	319	115	1,450
負担	81	0	0	0	81
計	166,615	104,000	30,513	3,338	28,764

## 3 事務事業

事務事業名	事務事業の主な内容
博物館管理運営事業	施設の維持管理を目的としており、館利用者が安全で快適な環境で学習できるように施設を整備する。また、博物館協議会において、適正な事業方針を審議する。
博物館展示事業	総合展示・主題展示・野外展示・映像展示で構成し、市民に郷土の歴史と文化への理解を深めてもらう。また、年4回程度、企画展・資料展・学習資料展を実施する。
博物館学習支援事業	歴史講座・体験教室・講演会等の開催、デジタル情報の提供、学校教育との連携などを図り、松戸の歴史文化等にかかわる最新情報を様々な媒体を通して提供する。
博物館歴史資産収集調査事業	松戸を中心とする歴史・文化・自然史等に関する資料の収集・保存及び調査研究を行い市民の共有の資産として後世に伝える。
市史編さん事業	市民に郷土の歴史を知ってもらい、郷土に対する誇りを育てるため、松戸市史の編さんを行う。 平成10年度に市長から諮問のあった『松戸市史 上巻』の改訂については、平成26年度に『松戸市史 上巻(改訂版)』の刊行を行ったので、現在は、市長よりの諮問案件はない。

## 4 各種委員会等

### (1) 博物館協議会

#### 委員名簿

(令和4年3月31日現在)

区分	氏名	役職等
1号委員 学校教育関係者	西郡 泰樹※	松戸市立小金小学校校長
	大西 一樹	松戸市立馬橋北小学校教諭
2号委員 社会教育関係者	山口 恵理子	北部幼稚園副園長
	岡田 啓時	松戸市立博物館友の会相談役
	谷鹿 栄一	千葉県立美術館主任上席研究員
3号委員 家庭教育の向上に 資する活動を行 う者	百田 清美	NPO法人ねばぁらんど理事長
4号委員 学識経験者	濱島 正士	国立歴史民俗博物館名誉教授 (建築史学)
	佐藤 孝之	東京大学名誉教授(近世史)
	小島 孝夫	成城大学教授(民俗学)
	日高 慎	東京学芸大学教授(考古学)

任期2年 令和5年9月30日まで

※令和3年3月31日で大島賢一が退任

令和3年5月13日に西郡泰樹が就任

#### 第1回協議会

令和3年7月25日(日)

会場：博物館会議室

議題：(1)松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画(案)について  
(2)館蔵資料展「小金城・根木内城+郷土玩具展リターンズ」内覧

#### 第2回協議会

令和3年11月14日(日) 会場：博物館会議室

議題：(1)会長・副会長互選  
(2)松戸市立博物館常設展示利用者調査の報告について  
(3)企画展「古墳時代のマジカルワールド」内覧

#### 第3回協議会

令和4年3月19日(土)

会場：博物館実習室

議題：(1)松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画(案)について  
(2)博学連携展示・こどもミュージアム「松戸探検100年前からのくらしのうつりかわり」内覧

### (2) 博物館等資料選定評価委員会

#### 委員名簿

(令和4年3月31日現在)

氏名	専門	役職等
安蒜 政雄	考古	明治大学名誉教授
岡塚 章子	写真	江戸東京博物館 都市歴史研究室長※
久保田昌希	歴史	駒澤大学名誉教授
佐野 賢治	民俗	元神奈川大学教授
渡辺 尚志	歴史	一橋大学名誉教授※

任期2年 令和5年3月31日まで

※令和3年3月31日金子隆一、松尾恵美子が任期満了に伴い退任

※令和3年4月1日岡塚章子、渡辺尚志就任

### (3) 松戸市史編さん委員会

※「3 事務業務」にて記載のとおり、平成10年度に市長から諮問のあった事業については、平成26年度で終了したので、現在は市長からの諮問案件はない。

## 5 博物館利用者数の統計

利用者総計 65,885人

利用者の内訳は以下の通りである。

常設展示観覧者数（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

月	開館日数(日)	有料観覧者数(人)				無料観覧者数(人)									観覧者総数(人)
		個人		団体		有料観覧者計	学習活動	身体障害者	70歳以上	中学生以下	視察等	友の会	無料開放日	無料観覧者計	
		一般	高校生 大学生	高校生 大学生	一般										
4	25	559	37	0	0	596	0	64	50	221	5	4	64	408	1,004
5	26	879	54	0	0	933	0	64	44	308	2	2	192	612	1,545
6	20	394	25	0	0	419	0	38	25	133	9	5	120	330	749
7	27	962	73	0	0	1,035	63	117	87	392	30	4	0	693	1,728
8	26	831	77	0	0	908	0	87	45	512	45	5	0	694	1,602
9	25	843	45	0	0	888	0	59	36	433	21	2	0	551	1,439
10	27	1,051	43	0	0	1,094	193	111	211	520	169	1	0	1,205	2,299
11	24	1,089	54	0	0	1,143	100	115	218	493	365	8	1,083	2,382	3,525
12	22	411	37	0	0	448	82	26	39	140	9	1	0	297	745
1	22	476	23	32	0	531	259	43	31	210	25	1	0	569	1,100
2	23	510	44	28	0	582	297	47	37	292	21	5	0	699	1,281
3	27	654	48	0	0	702	303	89	66	449	9	1	0	917	1,619
計	294	8,659	560	60	0	9,279	1,297	860	889	4,103	710	39	1,459	9,357	18,636

### 企画展示等観覧者数

展覧会	開催期間	開館日数(日)	有料観覧者数(人)				無料観覧者数(人)									観覧者総数(人)		
			個人		団体		有料観覧者計	学習活動	身体障害者	70歳以上	中学生以下	視察等	友の会	無料開放日	無料観覧者計			
			一般	高校生 大学生	一般	高校生 大学生												
館蔵資料展「小金城・根木内城+郷土玩具展リターンズ」(前期)	R3.4.29～ R3.6.13	40														3,048	3,048	
館蔵資料展「小金城・根木内城+郷土玩具展リターンズ」(後期)	R3.7.6～ R3.8.22	42															3,575	3,575
企画展「古墳時代のマジカルワールド」	R3.10.2～ R3.11.21	44	2,452	98	0	0	2,550	109	236	468	994	776	0	1,083	3,666	6,216		
博学連携展示・こどもミュージアム「松戸探検 100年前からのくらしのうつりかわり」	R4.11.8～ R4.3.27	58															5,472	5,472
小計		184															15,761	18,311
第6回博物館アワード作品展	R3.12.4～ R3.12.19	14															849	849
計		198															16,610	19,160

※令和3年度の企画展・館蔵資料展等は全て無料展示であり、観覧者の内訳を把握していない。

## 博物館無料ゾーン利用者

博物館施設名	プレイルーム	映像展示	野外展示	講座・講演会等参加者	合計
日数(日)	270	270	270	—	—
利用者総(人)	7,052	1,139	19,037	861	28,089

## 博物館利用者総計 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

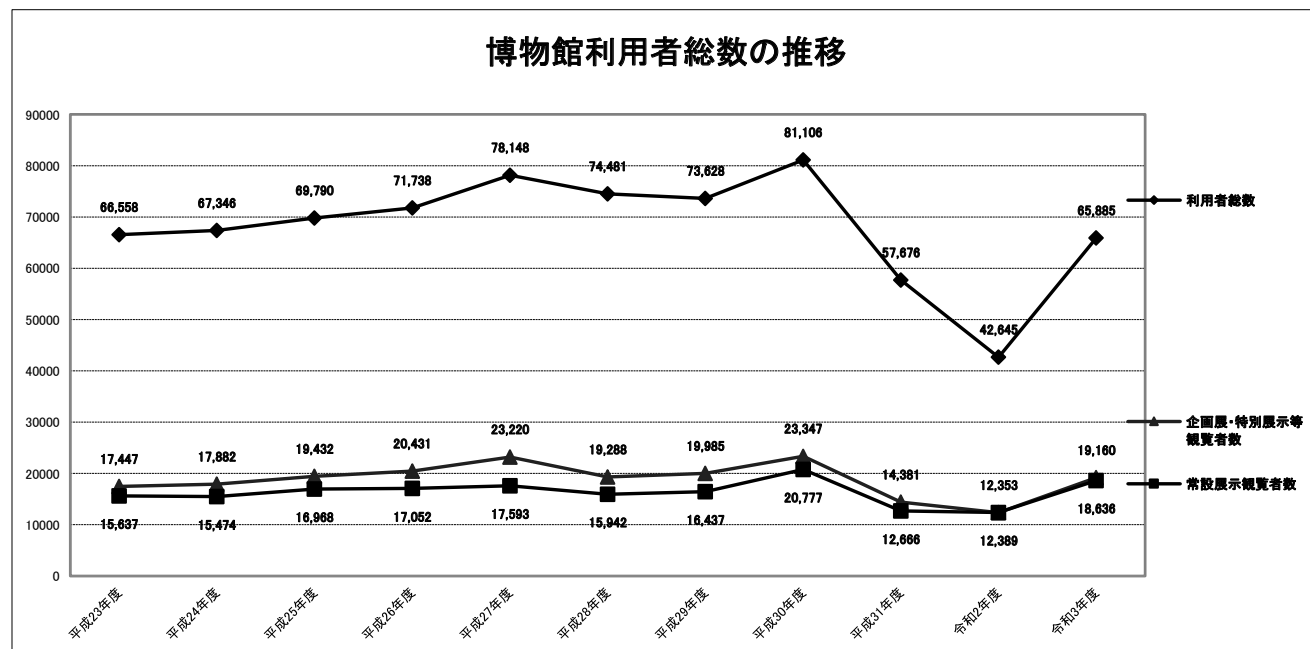
単位：人

	令和2年度	令和3年度	前年度比較
常設展示観覧者数	12,389	18,636	6,247
企画展・特別展示等観覧者数	12,353	19,160	6,807
博物館無料ゾーン利用者	17,903	28,089	10,186
利用者総計	42,645	65,885	23,240

## 博物館利用者総数の推移

単位：人

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
利用者総数	66,558	67,346	69,790	71,738	78,148	74,481	73,628	81,412	57,676	42,645	65,885
常設展示観覧者数	15,637	15,474	16,968	17,052	17,593	15,942	16,437	20,777	12,666	12,389	18,636
企画展・特別展示等観覧者数	17,447	17,882	19,432	20,431	23,220	19,288	19,985	23,653	14,381	12,353	19,160
うち) 企画展観覧者数	5,766	2,885	2,576	2,641	3,809	2,917	4,153	8,959	5,109	5,109	6,216
その他展示観覧者数	11,681	14,997	16,856	17,790	19,411	16,371	15,832	14,694	9,272	9,682	12,944
講座・講演会等参加者数	2,802	3,368	3,259	3,291	3,052	5,999	6,910	6,554	2,598	399	861



## 6 来訪者(敬称略)

令和3年

10月1日 朝日新聞社、産経新聞、千葉日報社 取材  
11月26日 ARUHIマガジン 取材

令和4年

3月11日 しんぶん赤旗 取材  
3月27日 佼成新聞 取材  
3月30日 プロジェクトドーン 取材

## V 条例・規則

### 松戸市立博物館条例

平成4年9月24日松戸市条例第28号

(趣旨)

第1条 この条例は、松戸市立博物館(以下「博物館」という。)の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 本市は、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名 称	位 置
松戸市立博物館	松戸市千駄堀671番地

(管理)

第3条 博物館は、松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理する。

(職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(事業)

第5条 博物館は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 歴史、考古、民俗、自然史等に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、フィルム等の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (4) 博物館資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (5) 博物館資料の利用に関し必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (6) 他の博物館、美術館、文書館、図書館、学校その他学術又は文化に関する施設との相互協力に関すること。
- (7) その他教育委員会が必要と認める事業

(観覧料)

第6条 博物館に展示されている博物館資料を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納入しなければならない。

- 2 教育委員会は、特に必要と認める場合においては、前項の観覧料を免除することができる。
- 3 既納の観覧料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、返還

することができる。

(入館の制限及び退館)

第7条 教育委員会は、次の各号の一に該当すると認めるときは、入館を禁止し、又は退館させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれのあるとき。
- (2) 博物館の施設、展示品等を損壊するおそれのあるとき。
- (3) その他博物館の管理上支障があるとき。

(博物館協議会)

第8条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条第1項の規定により、博物館に松戸市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織し、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験者

3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 前2項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して8か月を超えない範囲内において教育委員会が規則で定める日から施行する。

(平成5年3月26日松戸市教育委員会規則第2号で、同5年4月29日から施行)

附 則(平成10年3月27日松戸市条例第11号)

この条例は、平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成13年6月21日松戸市条例第23号)

この条例は、平成13年10月1日から施行する。

附 則(平成23年3月30日松戸市条例第11号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日松戸市条例第7号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

## 別表(第6条関係)

区 分		観覧料(1人1回につき)	
		個人	団体(20人以上)
常設展示	一般	310円	250円
	高校生・大学生	150円	100円
	中学生以下	無料	無料
企画・特別展示	次の各号に掲げる額を超えない範囲内において、その都度展示内容に応じ、教育委員会が定める。ただし、中学生以下の者に係る観覧料にあっては、無料とする。		
	(1)一般	1,200円	(共通観覧料については、1,440円)
	(2)高校生・大学生	600円	(共通観覧料については、700円)

## 松戸市立博物館管理運営規則

(平成5年3月26日松戸市教育委員会規則第3号)

(趣旨)

第1条 この規則は、松戸市立博物館条例(平成4年松戸市条例第28号。以下「条例」という。)第9条の規定により、松戸市立博物館(以下「博物館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、博物館への入館時間は、午後4時30分までとする。

2 松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要と認めるときは、前項に規定する開館時間及び入館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時に休館し、又は休館日を変更することができる。

- (1) 月曜日
- (2) 1月1日から4日まで及び12月28日から31日まで
- (3) 館内整理日(毎月第4金曜日とする。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「祝日法による休日」という。)である場合は、この限りでない。)

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が祝日法による休日に当たるときは、その日後において、その日に最も近い祝日法による休日でない日を休館日とする。

(観覧券の交付)

第4条 条例第6条第1項の規定により、所定の観覧料を徴収したときは、観覧券(第1号様式)を交付するものとする。

(観覧料の免除等)

第5条 条例第6条第2項の規定により、観覧料を免除することができる場合は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 高校生、大学生及び大学生以下の者を引率する者が教育課程に基づく学習活動として観覧するとき。
- (2) 博物館が開催する講演会、講習会、研究会等に参加する者が観覧するとき。
- (3) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護人(手帳の交付を受けている者1人につき1人に限る。)が観覧するとき。
- (4) 市内に居住する70才以上の者が観覧するとき。
- (5) 県民の日を定める条例(昭和59年千葉県条例第3号)第2条に定める日に観覧するとき。
- (6) その他教育委員会が必要と認めるとき。

2 観覧料の免除を受けようとする者で前項第1号に該当するものは、あらかじめ博物館観覧料免除申請書(第2号様式)を教育委員会に提出し、承認を受けなければならない。

(観覧料の返還)

第6条 条例第6条第3項ただし書の規定により、観覧料の返還を受けようとする者は、博物館観覧料返還申請書(第3号様式)を教育委員会に提出し、承認を受けなければならない。

(資料の貸出し)

第7条 教育委員会は、次の各号に掲げる者に対し、博物館業務に支障がないと認めるときは、博物館で所蔵する資料を貸し出すことができる。

- (1) 国立博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項の規定による博物館及び同法第29条の規定による博物館に相当する施設の設置者
- (2) 前号に掲げる者のほか、教育委員会において特に認める者

2 博物館資料の貸出しを受けようとする者は、博物館資料貸出申請書(第4号様式)を教育委員会に提出し、博物館資料貸出許可書(第5号様式)の交付を受けなければならない。

3 博物館資料の貸出期間は、60日以内とする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、これを延長することができる。

(文献等の閲覧等)

第8条 教育委員会は、必要があると認めるときは、博物館で所蔵する資料のうち文書及び図書(以下「文献等」という。)の閲覧又は複写(文書については、マイクロフィルムに保存されているものに限る。)をさせることができる。

2 文献等を閲覧しようとする者は、博物館文献等閲覧許可申請書(第6号様式)を教育委員会に提出し、博物館文献等閲覧許可証(第7号様式)の交付を受けなければならない。

3 博物館文献等閲覧許可証の有効期間は、交付の日から1年とする。

4 文献等の複写を希望する者は、博物館文献等複写申請書(第8号様式)により教育委員会の許可を受けなければならない。

(閲覧又は複写の制限)

第9条 教育委員会は、次の各号に掲げる文献等の閲覧又は複写を許可しないものとする。

- (1) 未公開及び未整理のもの
- (2) 保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるもの
- (3) 寄託された文献等で寄託者の同意を得ていないもの
- (4) その他教育委員会が不相当と認めたもの

(入館者の遵守事項)

第10条 博物館の入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 施設、設備、展示資料等を汚損し、又は損傷しないこと。
- (2) 許可なく展示資料の写真撮影、模写等の行為を行わないこと。
- (3) 所定の場所以外において喫煙し、飲食し、又は火気を使用しないこと。
- (4) 無断で広告その他これに類するものを掲示又は配布しないこと。
- (5) 他人に危害を加え、又は迷惑となる行為をしないこと。
- (6) 前各号に定めるもののほか、教育委員会の指示に従うこと。

(所掌事務)

第11条 博物館の所掌事務は、別表のとおりとする。

(職務)

第12条 館長は、博物館の事務を掌理し、職員を指揮監督する。

- 2 次長は、館長を補佐し、所属の事務を統轄する。
- 3 館長補佐は、館長及び次長を補佐する。
- 4 その他の職にある者は、上司の命を受け、担任

事務を処理する。

(博物館協議会の会長等)

第13条 条例第8条第1項に規定する博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(博物館協議会の会議等)

第14条 協議会の会議は、会長が招集し、議長となる。

2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 協議会は、特に必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

5 協議会の会議は、公開を原則とする。ただし、協議会において会議を公開しないと認めたときは、この限りでない。

6 協議会の庶務は、博物館において処理する。

7 前各項に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(委任)

第15条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、平成5年4月29日から施行する。

附 則(平成6年3月31日松戸市教育委員会規則第9号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成6年3月31日松戸市教育委員会規則第10号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成7年3月2日松戸市教育委員会規則第5号)

この規則中、第5条第1項の改正規定は平成7年4月1日から、第11条に1号を加える改正規定は公布の日から施行する。

附 則(平成8年3月14日松戸市教育委員会規則第3号)

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則(平成10年3月26日松戸市教育委員会規則第9号)

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成13年7月11日松戸市教育委員会規則第12号)

この規則は、平成13年10月1日から施行する。

附 則(平成14年3月4日松戸市教育委員会規則第1号)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月31日松戸市教育委員会規則第8号)



この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成23年3月30日松戸市教育委員会規則第3号)

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月30日松戸市教育委員会規則第4号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年3月15日松戸市教育委員会規則第4号)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月13日松戸市教育委員会規則第2号)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

## 別表(第11条関係)

- ・ 文書の收受、保存及び公印の管理に関すること。
- ・ 観覧料の徴収に関すること。
- ・ 予算、経理及び物品の管理に関すること。
- ・ 要覧及び年報の作成に関すること。
- ・ 財産の管理に関すること。
- ・ 施設及び設備の維持管理に関すること。
- ・ 博物館協議会に関すること。
- ・ 資料選定評価委員会に関すること。
- ・ 市史編さんに関すること。
- ・ 市史編さん委員会に関すること。
- ・ 関係団体との連絡調整に関すること。
- ・ 資料の収集、保存及び展示に関すること。
- ・ 資料の調査及び研究に関すること。
- ・ 資料に関する講座、講演会、研究会等の開催に関すること。
- ・ 資料に関する目録、解説書、図録、調査研究、報告書等の作成に関すること。
- ・ 資料に関する相談、情報提供に関すること。
- ・ 博物館資料に関する閲覧、貸出等についての許可に関すること。
- ・ 博物館資料の寄贈、寄託に関すること。
- ・ 他の博物館、図書館、学校等との連絡及び協力に関すること。
- ・ その他博物館の専門的事項に関すること。

第1号様式～第8号様式 省略

## 松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例

(平成26年12月25日松戸市条例第28号)

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、松戸市立博物館等資料選定評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、松戸市立博物館及び松戸市戸定歴史館における歴史に関する資料(以下「歴史

資料」という。)の収集を適正かつ円滑に行うため、松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 歴史資料の真がんに関する事項
- (2) 歴史資料の価格の適否に関する事項
- (3) 歴史資料の寄贈及び寄託の受入れ又は購入の適否に関する事項
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、学識経験を有する者その他教育委員会が必要と認める者のうちから教育委員会が委嘱する。

2 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第8条 委員会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の専門的知識を有する者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

## 附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。(特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部改正)
- 2 特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例(昭和31年松戸市条例第15号)の一部を次のように改正する。  
別表2に次のように加える。

松戸市立博物館等資料選定評価委員会委員	日額 20,000円
---------------------	------------

※「松戸市立博物館等資料選定評価委員会設置要綱」については、「松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例」(平成26年12月25日松戸市条例第28号)として条例化されたことに伴い、平成27年3月31日付で廃止となった。

## 松戸市史編さん委員会条例

(昭和55年3月26日松戸市条例第3号)

(設置)

第1条 郷土をより深く理解することによつて市民の愛郷心を振起させ、あわせて市勢発展の基礎資料となる松戸市史を編さんするために、松戸市史編さん委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、市長の諮問に応じ、松戸市史の編さんについて調査審議する。

(組織)

第3条 委員会は、5人の編さん委員で組織し、次に掲げる者のうちから市長が委嘱又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 市の職員

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、これを代理する。

(招集及び会議)

第6条 会議は、委員長が招集する。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、規則で定める。

## 附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和55年4月1日から施行する。(松戸市誌編さん委員会条例の廃止)

2 松戸市誌編さん委員会条例(昭和28年松戸市条例第23号)は、廃止する。

(松戸市役所部課設置条例の一部改正)

3 松戸市役所部課設置条例(昭和38年松戸市条例第3号)の一部を次のように改正する。

第2条総務部の項中「市誌編さん」を「市史編さん」に改める。

## 松戸市立博物館研究員設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、松戸市立博物館(以下「博物館」という。)の資料整備並びに学校教育及び社会教育における博物館の活用に関し、専門的な調査研究に資するため、博物館に研究員をおく。

(定数)

第2条 研究員の定数は、8人を超えない範囲内において、館長が定める。

(委嘱)

第3条 研究員は、博物館の業務に関し、学識経験を有する者のうちから、博物館館長が委嘱する。

(任期)

第4条 研究員の任期は、1年とする。ただし、年度中途に委嘱された研究員の任期は、当該年度末までとする。

(職務)

第5条 研究員は、次に掲げる職務に従事する。

- (1) 博物館の資料の収集、保管、展示等に関する専門的、技術的な調査研究
- (2) 学校教育及び社会教育における博物館の活用に関する専門的な調査研究
- (3) その他博物館の事業に関する専門的な調査研究

(会議)

第6条 館長は、研究員の職務の円滑な遂行を図るため、必要と認めるときは、研究員の会議を開催することができる。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、館長が定める。

## 附 則

この要綱は、平成5年12月1日から施行する。

### 松戸市立博物館資料取扱い及び特別利用に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、松戸市立博物館(以下「博物館」という。)における博物館資料(以下「資料」という。)の寄贈又は寄託による受入れ、貸出し、借入れ及び調査又は研究のための特別利用に関し、必要な手続を定めるものとする。

(寄贈の申込み)

第2条 松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、資料の寄贈を受けるときは、寄贈の申込みをする者から資料寄贈申込書を徴するものとする。

(寄贈の承認)

第3条 教育委員会は、寄贈を受けることとなった資料を受領したときは、寄贈者に資料受領書を交付するものとする。

(寄託の申込み)

第4条 教育委員会は、資料の寄託を受けるときは、資料の寄託の申込みをする者から資料寄託申込書を徴するものとする。

(寄託資料の受託及び返還)

第5条 教育委員会は、寄託を受けることとなった資料を受領したときは、寄託者に資料受託証書を交付するものとする。

2 寄託を受けた資料(以下「寄託資料」という。)の返還は、資料受託証書と引き替えに行うものとする。

(資料の一時預り)

第6条 教育委員会は、資料の寄贈又は寄託の申込みがあった場合において、資料の寄贈又は寄託の可否を決定するために必要と認めるときは、当該申込者に対し資料の一時預りを求めることができる。

2 教育委員会は、前項の場合において当該申込者が資料の一時預りを承諾したときは、資料と引きかえに資料一時預り証を交付するものとする。

(寄託期間)

第7条 寄託期間は、3年とする。

2 前項の寄託期間の起算日は、寄託を受けた日の属する年度の4月1日とする。

3 教育委員会は、寄託期間の更新をするときは、寄託者から新たに資料寄託申込書を徴すると

もに、寄託者に新たに資料受託証書を交付するものとする。

(寄託期間内の返還)

第8条 教育委員会は、寄託期間満了前であっても、寄託者から寄託資料期間内返還申込書の提出があったときは、寄託資料の返還に応ずるものとする。

(寄託資料の一時返還)

第9条 教育委員会は、寄託資料の一時返還をするときは、寄託期間中に寄託者から寄託資料一時返還申込書を徴するものとする。

2 一時返還の期間は、60日を限度とする。ただし、特別の事由がある場合は、その期間を延長することができる。

3 一時返還の期間中における寄託資料の管理については、教育委員会は、その責を負わない。

(寄託資料の所有者変更)

第10条 教育委員会は、寄託者が寄託資料の所有権を移転する場合においては、寄託者から寄託資料所有者変更届を徴するとともに、受託証書の返還を受けなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は寄託者の死亡に伴い相続が発生したときは、相続により当該寄託資料の所有権を取得した者から、寄託資料所有変更届を徴するものとする。

(受託証書の再交付)

第11条 教育委員会は、前条の規定により寄託資料の所有者の変更が生じた場合は、受託証書の再交付を行うものとする。

2 教育委員会は、寄託者が受託証書を亡失、滅失又は破損した場合は、寄託者にこれらの事由を記載した書面によって受託証書の再交付を申請させるものとする。

(資料の館外貸出し)

第12条 資料の館外貸出しについては、松戸市立博物館管理運営規則第7条に定めるもののほか、次条及び第14条の規定によるものとする。

(資料の館外貸出条件)

第13条 教育委員会は、資料の館外貸出しをしようとするときは、次の各号に掲げる条件を明示するものとする。

(1) 貸出しを受けた者(以下「借受人」という。)は、貸出しを受けた資料(以下「貸出資料」という。)を善良なる管理者の注意をもって管理すること。

(2) 貸出資料の取扱いは、学芸員又はこれと同等の資格を有すると認められる者が行うこと。

(3) 貸出し期間中に貸出資料の保管等のために

要する費用は、全て借受人の負担とすること。

- (4) 借受人は、貸出資料を貸出目的以外の用に供してはならない。
- (5) 貸出資料を展示する場合は、原則としてケース内展示とし、松戸市立博物館所蔵の旨を明示すること。
- (6) 借受人は、貸出資料を滅失し、又はき損したときは、これによって生じた損害を賠償すること。
- (7) 借受人は、資料借用申込書に記載した事項を遵守すること。
- (8) 借受人において、貸出条件に違反する行為があるとき又は特別の事由が生じたときは、貸出期間中であっても貸出を取り消す場合があること及びこの場合において生じた損害については、教育委員会はその責を負わないものであること。
- (9) 博物館職員の指示に従うこと。
- (10) その他必要と認められる条件

(借用書の徴収)

第14条 教育委員会は、貸出資料と引き替えに借受人から資料借用書を徴するものとする。

(資料の借入れ)

第15条 教育委員会は、博物館における展示、研究等のために資料の借入れをするときは、借入れする資料(以下「借受資料」という。)の受領の際、資料預り証を資料の貸主に交付するものとする。

(借受資料の返還)

第16条 借受資料の返還は、資料預り証と引き替えに行うものとする。

(特別利用の申込み)

第17条 資料について、調査、写真撮影等の特別な利用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、資料特別利用申込書(寄託資料にあっては資料特別利用申込書及び所有者の承諾書)を教育委員会に提出して申込まなければならない。

(特別利用の承認)

第18条 教育委員会は、前条の申込みがあった場合において、資料の特別利用を承認したときは、当該申込者に資料特別利用承認書を交付するものとする。

(特別利用の条件)

第19条 教育委員会は、特別利用の承認をするときは、次の各号に掲げる条件を明示するものとする。

- (1) 資料の特別利用申込書に記載した目的以外の用に供してはならないこと。

- (2) 出版物等に掲載する場合は、松戸市立博物館所蔵の旨を明示すること。

- (3) 出版物等に掲載する場合は、博物館(寄託資料にあっては、博物館及びその所有者)に出版物等を寄贈すること。

- (4) 博物館職員の指示に従うこと。

- (5) その他必要と認める条件

(申込書等の様式)

第20条 この要綱の施行に関し必要な申込書等の様式は、別表の定めるところによる。ただし、特に必要と認める場合は、これらの様式に準じたものをもって手続をすることができる。

(委任)

第21条 この要綱の実施に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成5年12月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行前になされた資料の寄贈又は寄託による受入れ、貸出し、特別利用その他の手続については、この要綱の相当規定によりなされたものとみなす。

## 松戸市立博物館紀要投稿規程

(目的)

第1条 この規程は、松戸市立博物館紀要(以下「紀要」という。)への投稿に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(資格)

第2条 紀要に投稿することができる者は、次の各号に定めるものとする。

- (1) 投稿時において松戸市立博物館の職員である者
- (2) 投稿時において松戸市立博物館の研究員である者
- (3) 過去において松戸市立博物館の職員であった者
- (4) 松戸市立博物館が投稿を依頼した者
- (5) その他松戸市教育委員会が適当と認めた者

(審査)

第3条 原稿の掲載の可否は、松戸市立博物館紀要査読規程(平成23年10月1日施行。以下「査読規程」という。)にもとづいて松戸市立博物館紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)で査読の上決定し、著者に通知するものとする。

(投稿区分と枚数)

第4条 紀要の投稿区分と枚数は、次の各号に定めるところによる。

- (1) 論文70枚以内(400字詰原稿用紙換算)
  - (2) 研究ノート 50枚以内(同上)
  - (3) 資料紹介30枚以内(同上)
  - (4) その他 編集委員会の定めるところによる
- 2 前項の枚数には、本文、注、参考文献、図表を含めるものとする。
- 3 投稿する原稿は、未発表のものに限る(刊行予定のものは既発表とみなす)。
- (投稿形式)

第5条 投稿の形式は、原則として電子文書によるものとし、電子メールの添付ファイルとして送信し、又は電子媒体を編集委員会事務局宛てに送付する方法によるものとする。併せて、電子文書とは別に、紙媒体に印字された原稿を一部送付する。

- 2 前項の規定にかかわらず、編集委員会が特に必要と認めたときは、紙媒体による投稿をすることができる。この場合における投稿部数は、4部とする。
- 3 前2項の原稿を投稿するときは、図1に示す投稿票を添付するものとする。

(縮切)

第6条 投稿の締め切りは、毎年10月31日とする。

(校正)

第7条 原稿が受理された以後の本文の書き直しは、校正(明らかな誤字脱字を訂正することをいう。)を除き、これを認めない。

- 2 前項に規定する校正には、松戸市立博物館紀要執筆要領(以下「執筆要領」という。)にもとづいて形式を訂正することを含む。
- 3 著者による校正は初校のみとし、再校以後は編集委員会事務局が行うものとする。

(別刷の取り扱い及び掲載誌の贈呈)

第8条 著者には著作が掲載された号の紀要を5部贈呈する。

- 2 別刷が必要なときは、投稿時に編集委員会事務局あて必要部数を通知するものとし、別刷の作成に必要な経費は著者が負担する。

(委任)

第9条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規定は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

図1(用紙規格 J I S A 5)

投稿票

氏名	
タイトル	
投稿区分	
原稿枚数(400字詰原稿用紙換算)	

松戸市立博物館紀要編集委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、松戸市立博物館紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)の設置に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事務)

第2条 編集委員会は、次の各号に掲げる事項について調査審議するものとする。

- (1) 松戸市立博物館紀要に投稿された原稿の掲載の可否に関すること。
- (2) その他松戸市立博物館紀要の編集・発行に関し必要な事項

(構成)

第3条 編集委員会の委員は、学識経験を有する者及び関係機関の職員のうちから2名以上の者を松戸市立博物館長(以下「館長」という。)が指名する。

2 編集委員会の委員長は、館長をもってあてる。

(会議)

第4条 編集委員会の会議は委員長が招集し、自ら議長となる。

(意見の聴取)

第5条 編集委員会は、会議に編集委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第6条 編集委員会の庶務は、松戸市立博物館において処理する。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規程は、平成23年10月1日から施行する。

## 松戸市立博物館紀要査読規程

(目的)

第1条 この規程は、松戸市立博物館紀要(以下「紀要」という。)に投稿された原稿の査読に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(査読)

第2条 松戸市立博物館紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)は、紀要に投稿された論文、研究ノート及び資料紹介(以下「論文等」という。)について査読を行い、その結果を投稿者に通知するものとする。

2 編集委員会は、必要に応じて編集委員以外の者に査読を依頼することができる。

(査読方法)

第3条 編集委員会は、査読対象の論文等に関し、別表1に掲げる事項について評価を行う。

(判定)

第4条 編集委員会は、前条の評価に基づいて別表2に掲げる4段階の判定を行う。

2 前項の判定は、編集委員の過半数の賛成によって行うものとする。

(委任)

第5条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規程は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

## 別表2

1 掲載可(再審査不要)

- (1) このままで掲載可
- (2) 指摘箇所訂正後に可

2 修正後再審査

- (1) 書き直し後に再審査
- (2) 投稿区分の変更を必要とする

3 掲載否

- (1) 既発表部分が多い
- (2) 「松戸市立博物館紀要」として不適當
- (3) 内容不可

4 判定不能

- (1) 一部他分野の専門家の判断を必要とする
- (2) その他

## 別表1

1 形式

- (1) 表題・副題の適切さ
- (2) 章・節等の全体構成の適切さ
- (3) 原稿枚数の適切さ
- (4) 投稿区分の妥当性

2 内容

- (1) 素材及び資料の妥当性、提示方法
- (2) 論理展開の明確さ
- (3) 内容の正確さ、完成度
- (4) 結論の提示方法

3 図表等

- (1) 図表の必要性
- (2) 図表の作成、説明の適切さ

4 文献

- (1) 参照文献の妥当性、引用の適切さ

5 表現

- (1) 文章の表現力、読みやすさ

## 職員名簿（令和3年4月1日現在）

館長（非常勤）	望月 幹夫
次長	小山 智之
館長補佐	染野 寿郎
館長補佐・学芸員	中山 文人
主査	中野 裕子
主任主事	武井 駿
主事	齋藤 美伽
主幹・学芸員	青木 俊也
主査・学芸員	富澤 達三
主査・学芸員	小林 孝秀
主任主事・学芸員	西村 広経
再任用・学芸員	大森 隆志
再任用・学芸員	山田 尚彦

## 人事異動

〈令和3年4月1日〉（カッコ内は転出後・転入前の所属）

転出：審議監	堤 和子（学校教育部）
主事	加藤 義隆（生活支援一課）
転入：次長	小山 智之（新松戸支所）
主事	齋藤 美伽（子育て支援課）

〈令和4年3月31日〉

退職：館長	望月 幹夫
退職：館長補佐・学芸員	中山 文人
退職：主幹・学芸員	青木 俊也
退職：主査・学芸員	小林 孝秀
退職：再任用・学芸員	大森 隆志

---

## 松戸市立博物館年報 第29号

発行日 令和4年10月21日

編集・発行 松戸市立博物館

〒270-2252

千葉県松戸市千駄堀671番地

電話番号 047-384-8181（代表）

[http://www.city.matsudo.chiba.jp/m\\_muse/](http://www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/)

印刷 株式会社 弘文社



松戸市立博物館  
MATSUDO MUSEUM